

かすみがうら市議会決算審査特別委員会会議録

令和7年9月8日 午後1時21分 開 議

出席委員

委員長	設 楽 健 夫
副委員長	井 出 有 史
委員	矢 口 龍 人
委員	佐 藤 文 雄
委員	小座野 定 信
委員	櫻 井 繁 行
委員	久 松 公 生
委員	櫻 井 健 一
委員	鈴 木 貞 行
委員	服 部 栄 一
委員	石 澤 正 広
委員	鈴 木 更 司
委員	塚 本 直 樹

欠席委員

委員	小 倉 博
----	-------

出席説明者

副 市 長	飯 塚 一 政
総務企画部長	横 田 茂
産業経済部長	貝 塚 裕 行
農業委員会事務局長	小 泉 一 司
総 務 課 長	谷 中 博 文
秘書人事課長	神 野 厚
情報政策課長	田 中 英 昭
総務部企画監	木 村 勇 介
総務部企画監	樽 見 大 輔
農林水産課長	篠 崎 政 彦

出席書記名

秘書人事課主任	砂 岡 礼
商工観光課主幹	藤 澤 修 平
都市整備課主事	保土田 智 幸

健康増進課主事	横 瀬 弓 佳
議会総務課課長補佐	鴻 巣 智 子
議会総務課主幹	川原場 智

議 事 日 程

令和7年9月8日（月曜日）午後1時21分 開 議

1. 副市長挨拶

2. 議案の審査

（1） 議案第73号 令和6年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定について

開 会 午後 1時21分

○設楽健夫委員長

こんにちは。

ただいまの出席委員は13名で、会議の定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

それでは、ただいまから決算審査特別委員会を開きます。

最初に、書記を追加して指名します。

秘書人事課、砂岡 礼君、都市整備課、保土田智幸君、商工観光課、藤澤修平君、健康増進課、横瀬弓佳君、以上4名を追加して指名をいたします。

本日、副市長にご出席いただいておりますので、ごあいさつをいただきたいと思います。

○副市長（飯塚一政君）

令和7年度決算審査特別委員会の開催に当たり、市長に代わりまして一言ごあいさつ申し上げます。

委員の皆様には4日間にわたり大変お疲れさまでございます。本日から審査いただく議案は、議案73号から78号の全6会計であります。令和6年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算のほか特別会計歳入歳出決算、公営事業会計決算について、監査委員の審査に付してその意見を得ましたので、地方自治法及び地方公営企業法の規定により認定をお願いするものであります。慎重なご審議を賜りますようお願い申し上げます。開会のあいさつといたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○設楽健夫委員長

ありがとうございました。ここで副市長は退席となります。

○小座野定信委員

1つ質問いたします。

これは監査委員会にかけていると思うんですけども、監査で指摘されたことはございますか。

○設楽健夫委員長

議案集には載っていますけれども、答弁はどなたになりますか。

○総務企画部長（横田 茂君）

それでは、監査委員からいただいた意見書のほうが添付されておりますが、特に予算執行上の指摘はございませんでした。改善するものについては審査意見を遵守して、改善のほうの提案は一部されておりますけれども、特にそれ以上の提案はございませんでした。

○設楽健夫委員長

よろしいですか。

それでは、本日の日程は審査予定表のとおりであります。

なお、決算審査の関係資料につきましては、お手元のタブレット端末でご覧になれるので、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

ここで委員各位に申し上げます。

決算審査の基本的な意義につきましては、予算執行の結果を総合的に確認、検証して今後の行財政運営の改善に資することです。したがって、委員各位におかれましてはその点に留意し、質疑されますようお願い申し上げます。

次に、執行部に申し上げます。

審査の順序につきましては、お手元の審査予定表に基づき審査することといたします。決算書等の説明資料は、資料名と説明するページ番号を言ってから説明をされますようお願い申し上げます。

また、能率的かつ効率的な委員会運営を図るため、説明は単に数字を言うだけでなく、簡潔な説明並びに簡明な答弁をお願い申し上げます。

それでは、本特別委員会に付託されました議案等の審査に入りたいと思います。

ここであらかじめ申し上げます。

議案第73号 令和6年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定についての審査につきましては、多数の部署にまたがるため、各部署への質疑を行い、9月11日木曜日に審査予定の議会事務局の所管に関わる部分の質疑が終わった後に、討論並びに採決することといたします

それでは、議案第73号のうち、総務企画部の所管に関わる部分を議題といたします。

説明を求めます。

○総務企画部長（横田 茂君）

それでは、総務企画部のほうのご説明、順に総務課、経営企画課、秘書人事課、情報広報課という順序で説明をさせていただきたいと思います。まず、総務課の所管につきまして担当課長からご説明申し上げます。

○設楽健夫委員長

それでは、説明を求めます。

なお、説明は簡潔にお願いいたします。

○総務課長（谷中博文君）

それでは、令和6年度歳入歳出決算につきまして、総務課で所管しております一般会計についてご説明いたします。

決算書は23ページ、24ページをご覧ください。

決算書23ページ、24ページになります。

14款1項1目1節、備考欄の庁舎使用料125万6640円のうち、当課の所管分につきましては100万1995円でございます。電柱等土地使用料と自動販売機の設置に伴う公有財産の貸付料が主なものとなっております。

続きまして、決算書の37ページ、38ページをご覧ください。

15款3項1目1節、備考欄の自衛隊募集事務委託金3万4000円につきましては、自衛隊募集事務に関する経費に充てるための国からの委託金となっております。

続きまして、決算書の45ページ、46ページをご覧ください。

16款3項1目2節、備考欄の衆議院議員総選挙委託金2448万8211円につきましては、衆議院議員総選挙事務に関する経費に充てるための国からの委託金となっております。備考欄の在外選挙人名簿登録事務委託金1698円につきましては、経常的な経費で国からの委託金となっております。

続きまして、3節につきましては、備考欄に記載がございます調査に充てるため国からの各委託金となっております。

続きまして、決算書49ページ、50ページをご覧ください。

17款1項1目1節、備考欄の土地建物貸付収入1197万1499円で、市の普通財産貸付けによる収入となります。内訳につきましては、令和6年度財産管理に関する決算関係資料、タブレットのほうになるかと思うんですが、1番の普通財産貸付収入一覧表となっております。

続きまして、2項1目1節、備考欄、不動産売払収入71万4322円のうち、当課の所管分は30万2432円でございます。県道拡幅のための普通財産の売払いを行ったものとなっております。内訳につきましては、タブレットの令和6年度財産管理に関する決算資料2番の財産売払収入一覧表に記載してございます。

続きまして、決算書77ページ、78ページ、歳出予算執行状況の2ページをご覧ください。

歳出予算執行状況というのは紙でお渡しさせていただいているかと思うんですが、そちらのほうの2ページになります。

0501、ナンバー16になります。

総務諸事務に要する経費につきましては、当初予算7万8000円、予算現額同額に対しまして、執行額同額となっております。こちらの主な内訳につきましては、自衛隊募集事務にかかる消耗品と各区協議会の負担金となっております。

続きまして、決算書は79ページ、80ページ。歳出予算状況につきましては、2ページを引き続きご覧ください。

ナンバー17の庁舎一般管理に要する費用につきましては、当初予算343万2000円、補正予算251万2000円によりまして、予算現額594万4000円に対しまして、執行額559万6586円で、執行率94.16%となっております。主な内容につきましては、庁内の共通事務用品、窓口設置の新聞代、郵便料金の計測器の借り上げ料、有料道路の通行料等の費用となっております。

続きまして、決算書は79ページ、80ページで引き続きご覧ください。

歳出予算執行状況も2ページとなっております。タブレットPCのほうの主要事業概要につきましては59ページをご覧ください。

01の文書法制事業、20番の文書法制に要する経費につきましては、当初予算2265万6000円、補正予算34万5000円及び81万4000円の予備費の充用によりまして、予算現額2381万5000円に対しまして、執行額2265万6953円となっております。執行率は95.14%となっております。主な内容につきましては、市役所全体の費用を計上しているものでございまして、文書ファイリング用の消耗品、コピー用品等の消耗品、市封筒の印刷製本費、文書等の発送郵送料、顧問弁護士の委託料、広報誌の配達、文書等配達業務に要する経費となっております。事業費計につきましては、前年度に比べまして約3289万円の増となっております。内訳のうち増加している主な内容につきましては、折り込み丁合機の借り上げ料及び行政財産差止め請求事件訴訟の費用によるものとなっております。

続きまして、決算書は81ページ、82ページ、歳出予算執行状況については引き続き2ページとなっております。

2款1項5目、0101、ナンバー25の公有財産調整に要する経費につきましては、当初予算1699万2000円、26万円の流用によりまして、予算現額1725万2000円に対しまして、執行額1721万162円で、執行率は99.76%となっております。総務課所管の主な内容につきましては、営繕単価データの利用料、茨城県営繕主務者会議負担金等の経費となっております。

続きまして、2款1項5目、ナンバーは26の千代田庁舎等管理に要する経費につきましては、当初予算7100万7000円、補正予算につきましては50万円の減額及び75万9000円の流用によりまして、予算現額7126万6000円に対しまして、執行額7000万19万1414円で、執行率は98.49%となっております。内容につ

きましては、千代田庁舎の施設全体及び公用車等の管理を行っている事業となっております。主な経費としまして、10節の光熱水費1260万2996円のうち、内訳としまして電気料金1101万9060円、水道料金は65万6782円、ガス料金は6万4130円の内訳となっております。電気料金につきましては対前年度費1.18%となっております、使用量が増えたというよりは電気料金の上昇によるものと思われます。

続きまして、決算書は83ページ、84ページ、歳出予算執行状況は引き続き2ページをご覧ください。

ナンバー27の霞ヶ浦庁舎等管理に要する経費につきましては、当初予算3514万円、補正予算は129万2000円の減額によりまして、予算現額3384万8000円に対しまして、執行率3186万594円で、執行率は94.13%となっております。内訳につきましては、霞ヶ浦庁舎の施設全体及び公用車、福祉バス等の管理を行っている事業となっております。

主な経費としまして、やはり光熱水費が728万7655円のうち、主な内訳としまして電気料金710万2950円、水道料金18万4705円となっております。同じように電気料金につきましては、対前年度比1.14倍となっております、使用量が増加というよりは電気料金の増加ということになっております。

続きまして、決算書の85ページ、86ページをご覧ください。歳出予算執行状況は引き続き2ページとなっております。

ナンバー29の（仮称）中央庁舎等管理に要する経費につきましては、当初予算3億9838万2000円、補正予算4億6031万5000円及び1億1万9000円の現額の流用によりまして、予算現額4億4367万8000円に対しまして、執行額3億7068万5086円となっております、執行率は83.55%となっております。内訳につきましては、中央庁舎の開設に伴う経費になってございまして、主な経費としましては、14節の新庁舎整備工事の3億9039万400円でございまして、さらにその最も内訳の大きな金額としましては中央庁舎の整備工事が3億800万円となっております。また、17節の施設管理用備品の4718万5325円の主なものとしましては、来庁者用のロビー、受付用カウンター、各共用室、事務スペースの机、椅子、書棚、中央庁舎等の備品3544万4200円となっております。

続きまして、決算書は113、114ページ。歳出予算執行状況は5ページとなっております。

2款4項1目、ナンバー64の選挙管理委員会に要する経費につきましては、当初35万6000円、2万7000円の予備費の充用によりまして予算現額38万3000円に対しまして、執行額29万3815円で、執行率は76.71%となっております。主な内容につきましては、選挙管理委員会の開催や選挙人名簿の調整に要した費用となっております。

続きまして、決算書は115ページ、116ページ。歳出予算執行状況は5ページを引き続きご覧ください。

2款4項2目、ナンバー66の衆議院議員総選挙に要する経費につきましては、当初予算0円、補正予算1843万3000円によりまして予算現額は同額に対しまして、執行額1718万5425円で、執行率は93.12%となっております。内訳につきましては、衆議院議員総選挙に要した費用となっております。

続きまして、2款5項1目、ナンバー67の統計調査の総務事業に要する経費につきましては、当初予算15万円、予算現額同額、執行額11万5933円で、執行率は77.29%となっております。主な内容につきましては、茨城県統計協会会費、統計調査員の功労者記念品、統計調査に要する消耗品、傷害保険等の費用となっております。

決算書117ページ、118ページとなります。歳出予算執行状況につきましては引き続き5ページをご覧ください。

2目の基幹統計費、0101のナンバー68の基幹統計調査に要する経費につきましては、当初予算697万1000円、予算現額は同額でございまして、執行額は596万8366円で、執行率は85.62%。主な内容につきましては、昨年度実施いたしました農林業センサス、全国家計構造調査、学校基本調査等の費用となっ

ております。

続きまして、令和6年度かすみがうら市財産に関する調書の財産に関する調書についてご説明申し上げます。

決算書につきましては349、350ページをご覧ください。令和6年度財産管理に関する決算資料のほうは、3番の財産に関する長所の増減内訳もあわせてご覧ください。

1番の公有財産(1)の土地及び建物になります。土地につきましては公共用財産、その他の施設が1万2220平方メートルの増で、水郷園の土地取得によるもの及び寄附の受入れによるものとなっております。その他が14平方メートルの減となっております。県道の拡幅のための土地の払下げによるものでございます。建物の木造につきましては、公共用財産、その他の施設が386平方メートルの減でございまして、内訳としましては水郷園の計184平方メートルの増と、志士庫地区第2公民館、稲吉児童館、牛渡小学校の資料室、合計570平方メートルの減となっております。建物の非木造につきましては、公共用財産、その他の施設が1,441平方メートルの減で、内訳としましては、旧霞ヶ浦保健センター合計769平方メートル、勤労青少年ホーム672平方メートルとなっております。

決算書は355ページ、356ページをご覧ください。

2番の物品(車両・船舶)の箇所になります。

令和6年の増減は、上から順に普通乗用が1台の増、普通貨物が1台の増、小型乗用が1台の減、小型貨物が1台の減、軽自動車乗用が1台の減、軽自動車貨物が1台の増、合計台数は令和5年度と同数の146台でございます。

説明につきましては以上となります。よろしく申し上げます。

○設楽健夫委員長

説明が終わりました。

それでは、総務課に対する質疑等ございましたら、挙手の上ご発言をお願いいたします。

○小座野定信委員

2点ほどお伺いします。

まず、1点目なんですが、82ページ、千代田庁舎というか庁舎全体に関わる費用の中で、電気代が非常に高騰しているということで使用料が上がっているということでありましたね。そういう中で今現在、太陽光に対する補助率が非常に上がっているように感じます。そういったことは、例えば屋根を貸して無料の電源を使わせてもらうとか、あと、各小学校、中学校の体育館等の屋根を貸して非常時、避難時、避難場所の電源確保につなげるとか、バッテリーをくっつけて、そういった考えはいかがでしょうか。これがまず1点。

2点目としまして、116ページ、選挙管理委員会の中の立会人の報酬についてお伺いいたします。

これはどういう基準で報酬額を決めているのかということです。この2点お願いします。

○総務課長(谷中博文君)

まず、1点目の太陽光につきましては、今現在、霞台厚生施設組合のほうから電力供給をいただいております。光熱費が上がっている状況の中では、様々な選択肢というのは今後検討の余地はあるのかなとは思います。

○小座野定信委員

もう1個あるんだ。

○総務課長(谷中博文君)

もう一点目につきましては、選挙の立会人に付しましては、国の法律のほうで決まっておるものでござ

いまして、そちらに準じたような形になっております。

○小座野定信委員

横田部長、どうですか。先ほどの電気の関係ですけれども、そういった屋根貸しとか、また避難所に対する防災意識も含めた中で屋根貸しをして電気代を下げるという考えというのは、いかが考えておるでしょうか。

○総務企画部長（横田 茂君）

防災上も必要なことでございますし、先ほどからご指摘されているとおり、電気料金の高騰もございます。その可能性を見ていきたいと思っております。

また、業者が協力していただければ前に進めないことでございますので、公共施設の制約もある中でそのあたりを十分情報共有していきたいと思っております。

○小座野定信委員

前向きに考えてみていただきたいと思っております。終わります。

○佐藤文雄委員

今に関連するんですが、車両はプラスマイナスで0円だと思うんですが、やはりこの2庁合併方式が非常に問題で燃料費がかなり負担になっていると思うんですがね。燃料費については、前年度と比べて量的、そして価格的にはどこまでつかんでいらっしゃいますか。

○総務課長（谷中博文君）

公用車の燃料代につきましては、やはり同じようにガソリン代そのものの単価そのものに影響を大きく依存するところがあるかとは思いますが、基本的には庁舎の市内に使う分といいますか、市内の距離につきましては市内として使っている部分でございますので、それほど昨年度とは変化はないのかなという認識しております。

○佐藤文雄委員

量的にどうなのかという質問は、つまりあまり無駄な行き来をしない。庁舎が合併するときには、いわゆるモニターで会議をやるとかという話もあったんですよ。今はZ o o mでやれる場合も結構多いんですよ。ですから、できる限り時間的なロスを考えれば、燃料費の高騰も含めてこのことについては改善をする、そういうお考えはないですかね。使用量そのものがどのくらいなのかというのも、やっぱり管理する必要があると思うんですよ。古くなればガソリンも食うし。新しい電気自動車であればガソリンは食わないというようなこともあります。総合的に見て量的なもの、それで会議の効率化を考えればZ o o mでやるということについてはどうでしょうか。

○総務課長（谷中博文君）

市内の会議につきましては、委員のおっしゃるようにZ o o mの会議ですとか庁議、あるいは部長会議も含めまして、霞ヶ浦庁舎と千代田庁舎をつないで会議なども行っておりますので、そういった意味では、かなりガソリン代を使わなく相互の移動を経ずに会議を行うということにつきましては、順次進めている状況、より進めているという状況かと思っております。

○佐藤文雄委員

ぜひ、やはり改善するということですから前回よりも今回、今回よりも次というふうなステップから考えると、そういう一覧表を作ってZ o o m会議をどのくらいやったのか、大体どのくらいの燃料が減っているのか、そういうのもやはり一つのチェック項目を作って、なるべくこういう無駄な、特に今気候危機でガソリンが高いだけでなくものすごいCO₂の排出がありますから、そういう立場も考えてそういう一覧表を作って改善するというお考えはありませんか。

○総務課長（谷中博文君）

今後検討していきたいと思います。

○佐藤文雄委員

ぜひ検討していただきたいと思います。

それと、86ページの中央庁舎に関する経費のほうと、不用額調書の50万円以上というのがありますよね、不用額調書のほうは30ページ。

ここに入札結果で予定価格よりも安価なために6000万円ぐらい浮いたよと、不用額が。ここでお尋ねしますが、当初、中央庁舎にはつい立てというか曇りガラスというか、あの構想というかはなかったと思うんですが、それについては何か変更があったんでしょうか。最初からああいう構図でしたっけ、それは確認です。

○総務課長（谷中博文君）

当初から予定している内容であったことです。

○佐藤文雄委員

あれ、つい立て見えないから、つい立てありましたっけ、最初。全員協議会かなんかでそういう書類出してましたか。当初からそういう設計だというんですが、私たち側の記憶だと、そういうふうなつい立てがあるような構図というか見取図というか、そういうのは記憶にないんですが、それはいつ出されましたか、それは確認できますか。

○総務課長（谷中博文君）

いつお出しさせていただいたかにつきましては、手元に資料はございませんが、後ほど佐藤委員にお示しさせていただきたいと思います。

○佐藤文雄委員

基本的にどこの役所でもオープンなんですよ。それがああいうふうな形でなっているということについて、やはりいろいろな意見が出されているものですから、当初にそういうものがあったのかなという疑問だったんですよ。ですから、それは当初の設計に入っていましたよということについては、我々議会のほうにいつ示されたのかなということなんです。ですから、それを示された、例えば全員協議会とかそういうことがあれば、その資料をいつ出したのか、後でお示ししてもらっても結構です。これ、私だけじゃなくて全員。皆さん、ああいうつい立てがあるというのは、当初からあったと思っていらっしゃるかどうか分かりませんが、ぜひ提出していただきたいんですが、これは、この決算審査での最中、今日出せますか。

○総務課長（谷中博文君）

今日かどうかは分かりませんが、速やかに確認してお出しさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○佐藤文雄委員

間違いなくあるというんだったらすぐ出てくるんじゃないのか、普通。不思議でしょうがないな。

関連してなんですが、30ページのところの次に財産管理で備品購入費がありますよね。この備品購入費の内訳なんかはあるんでしょうか。当初予算がこれ全部ですよ、当初予算。予算現額が出てきて支出額があって、最終的に不用額が1200万円が出たというようになっていますが、備品購入まではチェックできませんので、そういう最初に予算化はしていなかったと。ですから明細ですね、どういうものを買って結果的に4718万5000円になったのか。この表はございますか。

○総務課長（谷中博文君）

備品購入につきましては、令和7年の3月議会のときに中央庁舎の備品の取得につきまして、こちら議案として提出をさせていただいております。主な内訳としましては、来庁者用のロビーの机と椅子、受付カウンターの椅子、各共用室の机と椅子、事務スペースの机と椅子、書棚、戸籍ブースの備品、印刷室の棚、各倉庫の書棚などを、取得費用としては3544万4200円の契約によりまして取得させていただいております。

○佐藤文雄委員

令和7年の3月の予算に計上していたよと、何で当初予算額に入ってなかったんですか、これは漏れたんですか。

それと、私が言ったのは、そういう一覧表を、備品購入だから備品購入なので備品購入のやつがあるでしょう。それはみんな購入費でしょうよ。そしたら、購入に対して落札額があるでしょう、その一覧表を作っていますかと言っているんですよ。作らなきゃおかしいですよ、備品ですから。消えてなくなるわけじゃないですからね。そういうものを作っていますかということです。作っていなければ作ってもらうようにしなきゃいけないし、作っていればそれを提出してもらいたいということなんですが、いかがですか。

○総務課長（谷中博文君）

こちらは入札におきまして落札しておりますので、中身についてはそれぞれ明細というのは存在するかと思います。

○佐藤文雄委員

ちゃんと答えてよ、きちっと。だって購入しているわけでしょう、一つ一つ。何が欲しい、これが課題だと、そしたらその分の購入費の明細があるでしょう、それに対して落札率、落札があるでしょうよ、その一覧があるでしょう。そしてこの金額があるんじゃないですか、支出額が。

また、当初予算が3月にあるよと、3500万円だとかなんとかと言っているんでしょう。これにないから聞いているんだよ。何でこれ、ないのか、30ページにないでしょう、予算のところに。だから聞いているんですよ。別にないから聞いているんだよ、あれば聞かないですよ。いかがですか、もう何回も言わせないでくださいよ、表は作って出しますと言ってよ。

○総務課長（谷中博文君）

分かりました。

○佐藤文雄委員

あとは、予算のほうについては漏れていましたと。

○総務課長（谷中博文君）

当初予算につきましては、明細までは確定していなかったので予算のほうは乗せてございませんでした。また、今回の入札の明細については、後ほど提出をさせていただきたいと思います。

○佐藤文雄委員

いや、最初のこの空欄だからおかしいんじゃないかと言ったの。そうしたら備品が3500万円ぐらいと言ったんじゃないですか。だから、ここに空欄にしたのは間違いましたという、空欄じゃなかったんです、本当はというふうになるんじゃないですかということを聞いているんだよ。そうなるんじゃないですか。何でここに空欄なんですかと、何の空欄なんだろうなと思っておかしいなと思ったんです。当初予算0円になっているんですよ。何でか、幾ら見たって0円だよ。

○総務企画部長（横田 茂君）

当初予算の0円の件ですけれども、当初から備品を購入することは予定しておりました。しか

し、予定してはいたものの、何をどれぐらいかというほどまで決まっていたわけではない、もちろん大方は決まっておりますけれども、それは細かいところまで確定した上で対応しようという方針だったと私は理解しております。

○佐藤文雄委員

答えになっていないよ。だから、予算化しようと思ったら頭の中に予算化していたと、だからこれは0円だということじゃないですか。頭の中にあっただけでも数字にはなかったと、今急に令和7年の3月には3000万円という具体的なイメージが数字になって浮き上がってきたんですよ、これ。これ透かして見るんですか、そこを言っている。だから、きちっとそれはイメージしていた、ところがこれには書くのを書けなかったと、令和7年の3月には、これは予想はしていたけれども金額には乗せなかったと、だから今谷中課長が言ったのは、これは3000何がしは間違いですということなんじゃないですか。これ、はっきりしてくださいよ。こんなことで時間取ってもしょうがないから。

○総務企画部長（横田 茂君）

繰り返しになりますが、当初の予算計上がないというのが、まだ予算を上げるほど詰まっていなかったと。もちろん設計の部分等もございます。細かい部分まで決まった段階で補正のほうをお願いしたという経緯だと理解しています。

○佐藤文雄委員

だから、答えになっていないっていうの。これは当初予算0円だけれども補正でやりましたというふうに言えばいいじゃないか、そしたら。ここは令和7年3月と言ったんだよ、補正と今言ったじゃないですか。令和7年の3月の補正時にはあったのか。

○総務企画部長（横田 茂君）

当初予算には上がっておりませんので、補正で対応したということでございます。

○設楽健夫委員長

よろしいですか。

○佐藤文雄委員

だから、これは補正なんだから、ちゃんとそういうふうに言ってよ。令和7年の3月に3500万円云々かんぬんは間違いで、補正のときに、補正は6月ですか、6月ですよ。6月に3,000何がしの補正をしましたと。ちょっとこれを見て補正がありますか、補正。ここの決算審査特別委員会の資料に補正額は載っていますか。

○設楽健夫委員長

暫時休憩とします。 [午後 2時11分]

○設楽健夫委員長

再開します。 [午後 2時12分]

○総務課長（谷中博文君）

失礼しました。補正のほうは7月に補正してございます。4743万4000円となっております。

○佐藤文雄委員

7月の臨時議会ですか。だから当初は乗っていなかったんでしょう、だからこれ。0円は0円ですよ、これ間違いですね、ですから。これは当初予算は0円は間違いだ、0円は0円ですよとね。だから、最初に言った令和7年の3月というのは谷中課長の間違い、思い違いだったということですね。ですからそれは訂正してください。

○総務課長（谷中博文君）

大変失礼しました。先ほどの内容については訂正させていただきます。

○佐藤文雄委員

あとは、一覧表のほうをよろしくお願いします。いかがですか。

○総務課長（谷中博文君）

後ほど提出させていただきます。

○佐藤文雄委員

それで、中央庁舎の工事請負費の中で駐車場があったかと思うんですが、駐車場はこれはいつ、令和6年度に駐車場はやりましたか、発注は。駐車場はいつですか。

○総務企画部長（横田 茂君）

中央庁舎のすぐそばに、公用車及び障害者用の駐車場とか若干の駐車スペースがございます。それを施設の整備と併せてやりました。駐車場というのはそういうことだと思います。

○佐藤文雄委員

この請負の支出の3億939万400円の中に入っていますか。

○総務企画部長（横田 茂君）

はい、入っております。

○佐藤文雄委員

随意契約を見てください。令和7年2月12日、中央庁舎追加工事附帯工事、田中工務店、467万5000円、これは何ですか。

○設楽健夫委員長

暫時休憩とします。 [午後 2時16分]

○設楽健夫委員長

会議を再開します。 [午後 2時19分]

○総務課長（谷中博文君）

こちらの工事の内容につきましては、備品購入後でないとできない工事でございます、そちらの内容につきましては随意契約をしたものでございます。

○佐藤文雄委員

中央庁舎追加が附帯工事となっていますよ。それで、一時下請なんかも下館電業者、鹿島フェンス、立花商会、高松装飾となっていますが、備品購入ですか、中身が違うんじゃないですか。

○総務課長（谷中博文君）

すみません、失礼しました。備品購入後でないとできない工事ということになります。備品を搬入してからでないとその工事というのができない工事を随意契約でしたものでございます。

○佐藤文雄委員

どういう工事ですか。

○総務課長（谷中博文君）

フロアマットの設置とか、そういったものでございます。

○佐藤文雄委員

同じようにどういうものか全然イメージできませんので、この内容についてイメージできるような一覧表を作ってください。お願いします。いかがですか。

○総務課長（谷中博文君）

後ほど提出をさせていただきたいと思います。

○佐藤文雄委員

はい、お願いします。

○櫻井繁行委員

文書法制に要する経費のところなんですけれども、事業評価シートを確認すると、令和6年度として令和5年度よりもコピー用紙が30箱ほど多くなっていますよね。1箱当たり2,500枚ですからおよそ7万5000枚ぐらい、令和5年度と比べても令和6年度は枚数が増えていると、ペーパーレス化を進めていく中で大幅にプラスになってしまった要因というのは、どういうことが挙げられるのかお伺いします。

○総務課長（谷中博文君）

令和3年度につきましては、起案システムというのを導入させていただいております。

○櫻井繁行委員

令和3年度。

○総務課長（谷中博文君）

令和3年度に、はい、導入させていただいております、その途中からになりますので、その際には1,750箱ございましたが、令和4年度以降というのは極端に減らすことができておりまして1,380箱、令和5年度、令和6年度につきましては1,400箱、実績としまして令和6年度は1,430箱ということで、起案システムを導入後につきましては400箱ほど減らすことができておるという状況になっております。

○櫻井繁行委員

令和6年度の決算なので、我々が判断する要因としては令和5年度との比較になるので、そうはいつでも30箱増えているというような結果が出ているわけじゃないですか。その要因をちょっと教えていただきたいなと思ったんですけれども、7万5000枚ですよね、紙にすると増えていると思うんですが、よろしく願いいたします。

○総務課長（谷中博文君）

例えばなんです、令和6年度につきましては選挙等がございまして、そういった特異的な事業によりまして極端に30箱ほど、かなり枚数としては使用するといった経過がございます。

○櫻井繁行委員

そうすると、令和6年度を総体的にICT化とかDX、ペーパーレス化ということを考えていく中で、この文書管理システムであったりとかファイリングシステムというのを導入していると思うんですけれども、そういったものがしっかりと活用されて、基本的にはちょっと令和6年度はイレギュラーなことがあったのかもしれませんが、ペーパーレス化というのはしっかりと進んでいるというような解釈でよろしいですか。

○総務課長（谷中博文君）

委員のお見込みどおりとなっております。

○櫻井繁行委員

はい、分かりました。

それと、もう一点、決算書のほうになるかもしれませんが、文書法制に要する経費の中の内訳で、13番の例規等システム使用料が305万6240円というような支出があると思うんですけれども、これはどのような活用方法になっているのか、概略を教えてくださいよろしいですか。

○総務課長（谷中博文君）

こちらにつきましては、例規の判例ですとか各法律の解釈ですとか、あるいはQAですとか、そういったものをオンラインで見ることができるシステムになっております。

○櫻井繁行委員

これは費用対効果の面かもしれませんが、我々もタブレット端末を支給していただいてガルーンでファイル管理、課長ご存じだと思いますけれども、しっかり例規集なんかも確認できて非常に便利なんですけれども、書き換えとかそういったことを考える中でこの300万円、ちょっと何か少し高額な感じもするんですけれども、そういったところというのはどういうふうにして、例えばプロポーザルで年度年度しっかり契約体制を見直していくとか、システム上があることなのでなかなか難しいかもしれませんが、その辺令和6年度の総括としてどのような感じでお考えでしょうか。

○総務企画部長（横田 茂君）

例規は、どういう方式でかは確保しておかなければならないシステムだというふうに思っています。この取り扱う業者も幾つかに限られてしまっているというのは現実としてはございます。それと、できるだけ委員おっしゃるとおり、安いところで長期にはなってしまいますけれども、それで選択しているという現状がございます。

ただ、一見して、この300万円という数字なんですけど、実は合併の当初の頃は、合併の当初から切り替えたわけなんですけれども、旧町時代にはもう1000万円を優に超えるような経費がかかっていた類いの事務なんです。ですから、大分効率化されてきている。さらには、先ほど言ったとおり判例とかが大分便利になってきているということで、どっちかといいますとフルに活用するように他の職員のほうがもっと心がけていかなければならないと、そういう状況でございます。

○櫻井繁行委員

はい、分かりました。

○櫻井健一委員

82ページの急速充電器保守料というのがあるんですけれども、千代田庁舎の外にある電気自動車の充電器のことを言っているんだと思うんですけれども、これってどのぐらい使用されているかというのは分かりますか。保守料が年間30万円もかかっている、使用頻度を教えていただけますか。

○総務課長（谷中博文君）

現在のところデータのほうが取れておりませんので、今後データのほうを取るようにさせていただきます。

○櫻井健一委員

あると思いますけれども、利用自体は少ないという。

○総務課長（谷中博文君）

今現在につきましては、データのほう、それほど実績としては多くない状況ではございますので、今後活用状況については精査できるような形で残しておきたいと思います。

○櫻井健一委員

消防署の整備が始まるとこっちのほうはもう撤去されてしまうのかと思うんですけれども、場所的に市民窓口のほうが必要があると、向こうに取り付けたほうがいいのか、もしくはもうつけないほうが、市の負担が多いのでやめたほうがいいのかというデータだけでもちょっと知りたいなと思ったので、それは、今マイナスになっているかどうかぐらいは分からないですか。

○総務課長（谷中博文君）

今現在につきましては、しばしばお使いいただいている状況というのは見受けられますけれども、そちらが採算が取れているかまでは確認はできておりません。また、将来的には消防の庁舎ということができると、あちらのほうについては場所なども含めまして必要かどうかも含めまして、その辺のとこ

ろは検討する必要があるのかなと考えております。

○佐藤文雄委員

旧小学校管理に要する経費は、財産管理費のこっちですか。質問で大丈夫ですか。33ページのところなんですけど、33ページの一番上。これは財産管理のほうですか。

○総務課長（谷中博文君）

こちらの予算につきましては、今現在、経営企画課のほうでの予算の所管となっております。

○佐藤文雄委員

じゃ、経営企画課のときに質問すればいいんですか。

○総務課長（谷中博文君）

大変失礼しました。経営企画課ではなく、学校教育課のほうで。

○佐藤文雄委員

学校教育課。

[発言する者あり]

○総務課長（谷中博文君）

失礼しました。千代田地区に関しましては学校教育課で、霞ヶ浦地区につきましては総務課のほうで
ご質問いただければと思います。

○佐藤文雄委員

いや、33ページの一番上に書いてあるから聞いているんですよ。総務費、総務管理費、財産管理費、
旧小学校施設管理に要する経費、工事請負費、旧志筑小学校の改修工事があったんですね。これは霞ヶ
浦地区で総務課のほうでやっている物件じゃないんですか、物件ですよ、いかがですか。

○総務課長（谷中博文君）

はい、こちらでお願いします。

○佐藤文雄委員

33ページを見ると、これも当初予算が0円なんですよ。ですからこれは補正ですね。補正をして、7
月なのかどうか分かりませんが補正をしたと、そのことによって、これはランチルームですかね、旧志
筑小学校特別棟及びランチルーム改修工事、旧志士庫小学校ですか。これは当初予算は0円で補正だっ
たということよろしいですか。

○総務企画部長（横田 茂君）

そうなります。

○佐藤文雄委員

あのね、そうなりますと簡単に答えないの。7月の臨時議会だとか6月の定例会だとか何月の補正で
すと、ちゃんと答えてよ。

○総務企画部長（横田 茂君）

失礼いたしました。旧志士庫小学校はただいまコミュニティステーションになっていきますので、地域
コミュニティ課のほうに引き継いでるということだそうです。すみません、間違えました。

○設楽健夫委員長

暫時休憩とします。 [午後 2時38分]

○設楽健夫委員長

再開します。 [午後 2時43分]

ただいま33ページの件、執行課の前に担当課を分かりやすく入れていただきたいという意見もありま

した。ちょっとまとめていただきたいと思います。

○総務部企画監（木村勇介君）

ただいま資料が分かりにくいと櫻井繁行委員からご指摘がありましたので、不用額調書の作成は経営企画課の財政担当で作っておりまして、来年のこの資料に関しては、霞ヶ浦コミュニティセンターとか何々保育所とかあるんですけれども、何々課ということで表記を統一して作成したいと思います。

○櫻井繁行委員

さっきちょっと暫時休憩でお話ししちゃったので付け加えたいんですけれども、せっかく歳出予算執行状況という資料も作っていただいているので、それのほかに不用額の調書、これは50万円以上の差額になったものを全部一覧で載せていただいているので、正直言うと、ここで不用額が多いものというのはやっぱりチェックして、私なんかは決算ですから確認しているんですけれども、2枚の資料は本来であれば一緒になればありがたいなと思うのと、あとは、両方とも執行するその担当課といいますか、質問する担当課がここに書いておいていただければ、よりかみ合った決算審査特別委員会になるかと思うので、その辺も、今度、令和7年度の決算のときになると思いますけれども、少し考慮していただいて、できれば1枚で分かりやすいような資料になってくれるとありがたいので、その辺も付け加えてお願いします。

○総務部企画監（木村勇介君）

委員のおっしゃるとおり、分かりやすい資料の作り方に努めたいと思います。まず、不用額調書というのは、これはずっと長年こういう形式でやらせていただいて、一番後ろについている執行率が分かる執行状況調査というのは、この二、三年の話ですので、分かりやすくまとめたような資料になるよう検討させていただきたいと思います。

〔「執行率も入れてる」と呼ぶ者あり〕

○総務部企画監（木村勇介君）

そうですね、はい。

○設楽健夫委員長

では、佐藤委員に対する答弁をお願いします。

○佐藤文雄委員

これは地域コミュニティ課ね。

○設楽健夫委員長

どなたか。

○総務企画部長（横田 茂君）

佐藤委員指摘の点につきましては、地域コミュニティ課のときによろしくお願いしたいと思います。

○設楽健夫委員長

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○設楽健夫委員長

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○設楽健夫委員長

質疑を終結いたします。

続いて説明を求めます。

なお、説明は簡潔にお願いいたします。

○総務企画部長（横田 茂君）

それでは、経営企画課の分につきまして、私のほうから決算書に基づきましてご説明をさせていただきます。

まず、決算書をお願いいたします。1 ページ、2 ページ、まず見開きをお願いいたします。

まず、一般会計でございます。1 ページ、2 ページです。決算書です。

一般会計でございますが、歳入は195億8557万5953円、歳出が187億9682万8601円、差額 7 億8874万7352 円でございます。次年度へ繰り越すべき財源を引きますと、実質収支は 7 億3655万6352円でございます。

ただいま申し上げた点につきましては、269ページに実質収支調べというのがございますのでそちらのほうに明記されてございます。

続きまして、次、国民健康保険特別会計でございます。

1 ページ、2 ページに記載がございますとおり、歳入39億8539万3194円、歳出39億7078万7748円でございます。実質収支は1460万5446円でございます。

続きまして、後期高齢でございます。

歳入11億8524万6914円、歳出11億6199万3882円でございます。実質収支は2325万3032円でございます。

最後、介護保険の特別会計でございます。

歳入38億8494万3971円、歳出38億4600万5079円、実質収支は3893万8892円でございます。

続きまして、財産に関する調書の中の基金のほうを申し上げます。

357ページ、358ページをお願いいたします。

基金となります。

令和 7 年 3 月末日現在でございます。備考欄には令和 7 年の 4 月から 5 月の出納整理期間の異動を明示してございます。基金の令和 7 年 3 月末日の現在高につきましては、年度中の増減が 7 億2282万8000 円の減、合計額が57億8911万4000円でございます。代表的な基金の残高につきましては、財政調整基金が 6 億3751万円減の 6 億867万4000円でございます。減債基金につきましては5978万円増の28億6586万7000円となっております。

続きまして、359ページ、360ページをお願いいたします。

基金の運用状況でございます。

まず、土地開発基金でございますが、年度内に利子分 4 万4000円が増額になりまして、令和 6 年度末 8314万9000円、土地が 2 万314. 53平方メートル、取得価格 1 億2300万2021円でございます。大体合計で約 2 億円になってございます。

続きまして、360ページ、高額療養の貸付基金でございます。

運用額は5, 000円、本年度末の残高は1005万3000円でございます。

続きまして、361ページ、パスポートの購買基金でございます。

年度末現在で304万9400円、現金は95万2658円、合計400万2058円となっております。

続きまして、歳入のほうをご説明させていただきます。

決算書の15ページ、16ページをお願いいたします。

2 款 1 項 1 目地方譲与税のうちの真ん中、中ほどからになりますが、地方揮発油譲与税でございます。5586万3000円の収入です。

続きまして、同款2項1目の自動車重量譲与税でございます。収入済額は1億7095万9000円でございます。

続きまして、同款3項1目地方譲与税のうちの森林環境譲与税でございますして1031万3000円の収入です。

続きまして、決算書17ページから18ページをお願いいたします。

利子割交付金でございますして224万円の収入です。

続きまして、配当割交付金でございます。4527万6000円の収入です。

続きまして、株式等譲渡所得割交付金でございますして6303万1000円の収入です。

続きまして、6款法人事業税交付金でございますが、9917万4000円の収入でございます。

続きまして、決算書19ページ、20ページをお願いいたします。

7款でございます。地方消費税交付金10億988万5000円の収入でございます。

8款、ゴルフ場利用税交付金1億1061万4731円の収入です。

続きまして、9款環境性能割交付金2721万9000円の収入です。

一番下ですけれども、10款地方特例交付金2億911万6000円の収入です。

続きまして、21ページ、22ページをお願いいたします。

同款の新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金というもので109万6000円でございます。すみません、飛んでしまいました。一番上、地方特例交付金でございますして2億911万6000円でございます。ちょっと繰り返してになってしまいます。

一番下でございますして、11款地方交付税でございますして46億6120万2000円の収入でございます。

続きまして、23ページ、24ページをお願いいたします。

12款交通安全対策特別交付金でございますして収入済額は458万6000円でございます。

次に、決算書の31ページから32ページをお願いいたします。

国庫補助金のうちの総務費の国庫補助金、真ん中辺りになりますけれども、再編交付金でございます。1492万円でございます。これにつきましては米軍の基地の関係で周辺自治体に対して交付されるものでございまして、この基金につきましては現在基金、これ特有の基金に積増しを全額行っております。これは、霞ヶ浦コミュニティセンターの空調設備の増設工事、今発注しておりますけれども、これに全額を充てるように今準備をしているところでございます。これは国のほうと協議済みでございます。

続きまして、備考欄の上から4番目、デジタル田園都市国家構想交付金713万4285円でございます。これにつきましては、窓口の翻訳システムであるとか遠隔システム、そういったものに充当をしていただいているものでございます。

続きまして、備考欄の下から2番目、物価高騰対応の臨時交付金ということで5億640万600円でございますして、社会福祉課等低所得者への交付金等々、これまで何度も資料を提出させていただきました等の全額の合計でございます。

続きまして、一番下です。過疎地域持続的発展支援交付金1001万円でございますが、これにつきましては、先ほどから指摘がありました志士庫地区のコミュニティステーションの整備をこちらが充当されているということでございます。

続きまして、47ページ、48ページをお願いいたします。

茨城県過疎地域持続的発展支援交付金300万円でございます。こちらにつきましては、過疎対策事業費の事業債を活用している自治体に対して規定の部分が交付になるというものでございまして、私どものほうではスクールバスのほうにこの金額が充当されております。

続きまして、その下です。事務処理特例交付金295万9404円でございますが、これは県のほうから権限移譲などに伴い交付されているというものでございます。

[発言する者あり]

○総務企画部長（横田 茂君）

権限移譲です。権限移譲の関係で交付を受けているというものでございます。

続きまして、決算書の49ページ、50ページをお願いいたします。

利子及び配当金でございます。うちのほうとしては基金利子が所管となります。合計で1082万1250円でございます。これにつきましては各基金に対する利子の収入でございます。財政調整基金から森林環境譲与税基金までの合計ということでなっております。

続きまして、51ページ、52ページをお願いいたします。

上のほうの18款寄附金のうちのふるさと応援寄付金のうちの企業版のほうが経営企画課の所管となっております。1570万円でございます。この寄附金につきましては、企業版ふるさと納税ということで、例を挙げますとアサヒビールから500万円、ゼロワットパワーという企業から300万円、ほか12件の現金の寄附を受けております。そのほか現物ではありますけれども、机と椅子240セットを総額で1300万円相当を市内の小中学校のほうに寄附を受けてございます。

続きまして、基金の繰入金でございます。真ん中辺りです。

当該年度の基金からの収入済額というのは3億3524万2820円でございます。この収入につきましては、特定の目的の基金を取り崩して事業に充てているということでございます。

続きまして、53ページ、54ページをお願いいたします。

一番下になります。繰越金です。これは最後の調整分ということになりますけれども、収入額といたしましては、前年度の会計分の剰余金をそのまま充てているということでございまして8億806万2108円でございます。

続きまして、決算書63ページから68ページをお願いいたします。

地方債になります。市債になります。

令和6年度、市債としての収入は11億4710万8000円となります。これは事業を活用するに当たりまして、財政負担の平準化、世代間の公平との関係で活用をしているものでございます。

続きまして、歳出になります。

まず、決算書80ページをお願いいたします。

ちょっと下のほうになりますけれども、3目の財政管理費でございます。年度といたしましては、財政のほうで財務書類の作成システムを使用してございまして52万8000円、これが大きな支出でございます。財政事務事業としては55万5478円の支出でございます。

続きまして、88ページをお願いいたします。

88ページでありますけれども、一番下、基金運用益等の積立に要する経費というのがございます。こちらは、利子分をそのまま積み立てる、あるいは特定の額を積み立ててくるということで、令和6年度につきましては6億767万995円の積立を行っているものでございます。

続きまして、90ページから92ページをお願いいたします。

90ページであります。企画調整事業となります。合計で3840万3036円の支出がございしますが、これにつきましてはちょっと長くなりますけれども、大体負担金がメインとなっております。大きいものだけをちょっと説明させていただきますと、サインの修正作業の業務委託をしてございます。1143万7800円でございます。

続きまして、決算書の265ページから266ページをお願いいたします。

公債費でございます。公債費につきましては、元本につきましては11億3080万3789円、利子については7753万8409円を支払ってございます。

○設楽健夫委員長

それでは、質疑等がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

○佐藤文雄委員

まず最初に、基金のほうをちょっと。基金のほうは、決算年度末現在が57億8911万4000円、こういうふうになっておりますよね。備考欄に積立てをしたり取り崩したりということがございますが、主に財政調整基金が計算しますと9億845万4000円、減債基金が29億3718万8000円、それぞれ計算をすると実際には実質的な残高ですね、これは幾らになりますか。

○総務部企画監（木村勇介君）

お答えいたします。

佐藤委員のご質問で、令和7年5月末日現在の基金の総額は59億5848万833円でございます。

○佐藤文雄委員

59億。

○総務部企画監（木村勇介君）

59億5848万833円。

○佐藤文雄委員

私、計算がちょっと間違っ、私のほうで間違っていたかもしれないので後で点検します。

財政状況という資料がございますよね。財政状況資料、いわゆる決算カードです。ここに今話した積立金9億845万4000円、減債が29億3718万8000円、特定目的というのがあるんですが、特定目的というのはどれとどれを計算するんですか。

○総務部企画監（木村勇介君）

お答えいたします。

決算カードで基金の種類が3つありまして、財政調整基金と減債基金というのが特出しで掲載されております。その他特定目的というのは、その2つを除いた金額となります。いろいろ霞ヶ浦浄化とか様々な基金がありますけれども、それらを2つ除いた金額になります。

○佐藤文雄委員

そうすると、積立金現在高はこの合計が正確だということですか。そうすると、今ご説明していただいた、幾らだっけ900、合計になるのかな。59億5848万、そんなになるの。

○総務部企画監（木村勇介君）

はい。

○佐藤文雄委員

なりますか。

○総務部企画監（木村勇介君）

はい。

○佐藤文雄委員

ちょっと計算してねえから、じゃ、なるわけですね。なるわけですね。

○総務部企画監（木村勇介君）

はい、そうなります。おっしゃるとおりです。

○佐藤文雄委員

ちょっと計算してないので確認しました。

それから、一般会計の説明がございまして、資料としては一般会計8ページのところで、私は資料はいろいろ作ってはいるんですが、基金積立金取崩額の下に実質単年度収支という項目が必要なのかなと思うんですが、それは財政調整基金を黒字にするために取り崩したり、または前もって準備するために積み立てたり、そういうやりくりをする、いわゆる実質単年度収支というのが必要になるのかなと思うんですが、いかがでしょうか。

○総務部企画監（木村勇介君）

お答えいたします。

今、佐藤委員がおっしゃられたように、決算カードには実質単年度収支という記載がございます。一方で、こちらで作成して議会の皆さんにお示しした一般会計決算の概要というこの項目については、これまでずっと同じ形式で調整をさせていただいております。委員のご指摘を踏まえまして、決算の内容をより分かりやすくするというので、実質単年度収支がこの表にはありませんので、今後そういった資料の作成に努めたいと思います。

○佐藤文雄委員

それで、ここでたまたま算定台帳を前年度、令和5年度と令和6年度、令和5年度のほうがあったんですが、令和6年度にはなかったんですが、標準財政規模が増えましたよね。計算が令和5年度は書いてあったんですよ、ところが令和6年度書いていないんですよ、これはどうか。

○総務部企画監（木村勇介君）

お答えいたします。

今回、こちらのほうから議会のほうに提出させていただいた算定台帳の中で標準財政規模の記載がないというようなご質問かと思います。

お手元、こちらで出した資料9ページに算定台帳がございますけれども。

○佐藤文雄委員

9ページ。

○総務部企画監（木村勇介君）

9ページ。右側……。

○佐藤文雄委員

空欄になる。

○総務部企画監（木村勇介君）

ごめんなさい、私が把握しているのは116億7107万8000円という数字が入ってございまして、空欄というのがちょっと分からない。右の下のほうに標準財政規模という項目がありましてここに数字が入っているかなと思うんですが。

○佐藤文雄委員

標準財政規模ですね。簡単に言うと、令和5年度のときにこの空欄のところに書いてあったんですよ。赤印で。それで、あれ、なんでないのかなと思って。標準財政規模そのものは決算カードにも載っているんですよ、標準財政規模は。だから、標準財政規模というのはどういうものなのかなということなんです。

この前の令和5年度のときには、普通交付税決定額に標準財政収入額等を加えて、それに臨時財政対策債振替相当額、合わせていわゆる標準財政規模というのが出てくるというふうに書いてあるんです。

だから、これを書いていないと、標準財政規模って何なのかなというふうに分かりにくいのかなと、できれば書いてほしいと。

なぜそうなのかというと、標準財政規模が実質収支比率、いわゆる実質赤字比率とも言われている。本市は令和6年度は6.3%、その前は6.1%、その前が5.9%、その前が10.2%、こういうふうにかなり大きくばらつきがあるんですが、一般的には健全な運営をしている場合は3%から5%の範囲というふうになっているので、5%を超えております。そういう意味では、標準財政規模というのも非常に大事なと思うんですね。標準財政規模が大きくなったというのは、今回は地方交付税が多かったということなんでしょうか。まずそれを教えてください。

○総務部企画監（木村勇介君）

お答えいたします。

標準財政規模が伸びた理由は、佐藤委員おっしゃるとおりで地方交付税が伸びたこと、あとは市税の伸び、この2つが大きな要因だと思います。

○佐藤文雄委員

それで、3%から5%が望ましいということで、これは低くなれば赤字に近いということでやばいよということなのですが、6%を超えていますのでもうちょっと執行してもいいかなとは思いますが、これはどのような評価になっていますか。決算監査委員のほうの評価はどういうような評価になっていますか。

○総務部企画監（木村勇介君）

お答えいたします。

決算審査では、実質収支比率に対する注意喚起とかそういったものは特段ございませんでした。ただ、佐藤委員がおっしゃるとおり実質収支比率が6%と若干高いのではないかとということで、もっと本来であれば、令和6年度中に市民に還元すべきじゃないのかということかと思います。

実際この2年ほど実質収支比率は6%を超えており、大きな要因として冬に地方交付税の追加交付ということがこの2年ぐらいございました。昨年、令和6年度も12月に2億円程度の普通交付税の追加があったということで、12月に交付税措置された場合に予算化するのは3月、実際3月に補正を行いました。ただ、そこから歳出を伴う、支出するということが大変困難ですので、5%をこの2年は超えているというふうに解釈、分析をしております。

○佐藤文雄委員

増えたというのは、いわゆる物価高騰対策対応臨時交付金のことですか、違うか。

○総務部企画監（木村勇介君）

お答えします。

物価高騰、あとは新型コロナウイルスの臨時交付金とはまた別で、交付税というのは、毎年国税の何パーセントというふうに上限が決まっております。景気がいいときに総額が伸びると、この2年ほど国税がかなり伸びているということが一番大きな要因だと思っています。

○佐藤文雄委員

予定されていた地方交付税が結果的に再算定したら多かったということですね。

○総務部企画監（木村勇介君）

委員おっしゃるとおりです。

○佐藤文雄委員

それから、この起債のほうなんです。起債が決算カードで地方債が11億4709万8000円というふうに

なっていますよね、いわゆる決算状況で。これは間違いないと思うんですが、これの内訳が43ページに令和6年度起債予算対比表、一覧表がございますよね、43ページ。これで起債の合計が11億4710万8000円ということでぴったり合う、合わなきゃおかしいんですが。

それで、ちょっとお聞きしたいんですが、前年度と比べると教育・福祉施設等整備事業債が大幅に減っていると、一般単独事業債が増えている。それから、合併特例債事業も3億円ほど増えています。これ、それぞれ教えていただけますか。

○総務部企画監（木村勇介君）

教育債がまず減った要因といたしましては、下稲吉中学校の屋内運動場整備が終了したことで教育債が減っていると、合併特例債につきましては、今後予定しております消防庁舎の移転事業の設計部分というところに充てさせていただいております、そこで増えているというものでございます。

○佐藤文雄委員

単独のほうは。一般単独事業債4億6600万円増えていますね。

○総務部企画監（木村勇介君）

佐藤委員にちょっとお聞きしたいんですけれども、何ページのところでしょうか、すみません。申し訳ないです。

○佐藤文雄委員

いやいや、そうじゃなくて。43ページがあるけれども、私、令和5年度の起債と令和6年度の起債、これをプラスマイナスして前年度対比をやってみたんですが、私が間違っていたらごめんなさい。たまたま一般単独事業債が令和5年度が1億6096万円だったんですね。令和6年度が6億3590万円になっているんですよ。それで、差し引くと4億6630万円増えていることになっているので、どうして増えたのかなと、その要因は何でしょうかということの質問なんです、計算間違っていますか。

○総務部企画監（木村勇介君）

確認して資料を作りまして、佐藤委員、委員会のほうにお示しするということでよろしいでしょうか。一般単独事業債が令和5年度に比べて増えているということが分かる資料ということでよろしいでしょうか。

○佐藤文雄委員

はい、よろしいです。

○総務部企画監（木村勇介君）

それでは、早急に資料を作らせていただいて提出させていただきたいと思います。

○設楽健夫委員長

それでは、ここで休憩に入ります。

午後3時40分まで休憩に入ります。 [午後 3時26分]

○設楽健夫委員長

それでは、再開したいと思います。 [午後 3時38分]

それでは、引き続き質問を受け付けます。

質疑を開始します。

佐藤委員、いいですか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○設楽健夫委員長

それでは、質疑を終結いたします。

続いて、説明を求めます。

なお、説明は簡潔にお願いいたします。

○秘書人事課長（神野 厚君）

引き続きまして、令和6年度一般会計歳入歳出決算のうち、秘書人事課が所管する部分につきまして、決算書及び決算審査資料に基づきご説明申し上げます。

初めに、歳入についてご説明いたします。

決算書の59ページ、60ページをお開きいただきたいと思います。

初めに、60ページの中ほどの霞台厚生施設組合派遣職員負担金でございます。本負担金につきましては、本市から同組合に派遣いたしました職員1名分の給与などに係るもので、収入済額は746万3723円となっております。

続きまして、61ページ、62ページをご覧くださいと思います。

62ページの上から2段目に記載されております茨城県後期高齢者医療広域連合派遣職員負担金でございます。本負担金につきましては、本市から同団体に派遣いたしました職員1名分の給与などに係るもので、収入済額は684万9646円となっております。

次に、その下に記載されております茨城県職員対等相互交流派遣負担金につきましては、本市から茨城県自治研修所に派遣いたしました職員1名分の給与などに係るもので、収入済額は668万5485円となっております。

続きまして、中ほどに記載されております土浦市職員対等相互交流派遣負担金につきましては、本市から土浦市消防本部へ派遣いたしました職員1名分の給与などに係るもので、収入済額は883万1632円となっております。

歳入に関する説明につきましては、以上でございます。

続きまして、歳出につきましてご説明いたします。

決算書73ページ、74ページをお開きいただきたいと思います。

歳入歳出執行状況につきましては、1ページのナンバー8をご覧くださいと思います。

2款1項1目、02秘書業務事業、0201市民表彰に要する経費でございます。この経費につきましては、市の発展に貢献し市民の模範となる方を表彰するもので、予算現額13万9000円に対しまして、執行額は11万1552円で、執行率は80.25%となっております。主な支出の内容につきましては、表彰者に贈呈いたします記念品の購入費などとなっております。

続きまして、同ページに記載されております0202市長・副市長秘書業務に要する経費でございます。歳出予算執行状況につきましては、ナンバー9をご覧くださいと思います。

この経費につきましては、市長と副市長の公務遂行に係るもので、予算現額616万1000円に対しまして、執行額は556万1302円で、執行率は90.27%となっております。主な支出の内容につきましては、市長交際費、市長公用車の借り上げのほか、市が構成員として参画しております組織や団体への負担金などとなっております。

続きまして、決算書75ページ、76ページをお開きいただきたいと思います。歳出執行予算状況につきましては、ナンバー11をご覧くださいと思います。また、主要事業概要につきましては、お手元のタブレット端末で62ページをご覧くださいと思います。

決算書の下段に記載されております0401人事管理に要する経費でございます。この経費につきましては、職員採用試験の実施をはじめ職員の任用や服務など、人事管理全般に必要な経費で、予算現額3608万9000円に対しまして、執行額は2838万6057円で、執行率は78.66%となっております。主な支出の内容

につきましては、土浦市から本市消防本部に派遣されました職員 1 名分の人件費相当額としまして土浦市職員対等相互派遣負担金のほか、職員採用試験の実施に係る経費としまして面接官への謝礼などとなっております。なお、本経費につきましては、前年度と比較しまして2165万円余り増額となっております。

その主な理由につきましては2点ございます。1つ目は、障害者雇用に基づきまして任用しました会計年度職員6名に係るものでございまして、報酬や社会保険料に加え、令和6年度から会計年度任用職員にも新たに勤勉手当を支給することになったためでございます。2つ目は、土浦市との職員対等相互交流派遣に伴う負担金となっております。

続きまして決算書77、78ページ、歳出予算執行状況につきましてはナンバー12をご覧くださいと思います。

ページ中段よりやや上に記載されております0402職員給与に要する経費でございます。この経費につきましては、給与制度の適正化を図るもので、予算現額269万4000円に対しまして、執行額は264万8200円で、執行率は98.30%となっております。主な支出の内容につきましては、給与計算システムなどの使用料となっております。

続きまして、0403職員研修に要する経費でございます。歳出予算執行状況につきましてはナンバー13をご覧くださいと思います。

この経費につきましては、職員の能力向上を促すためのものでございまして、予算現額100万8000円に対しまして、執行額は80万356円で、執行率は79.40%となっております。主な支出の内容につきましては、職員研修などの講師謝礼や、茨城県自治研修所などが実施する職員研修の負担金となっております。

続きまして、0404福利厚生に要する経費でございます。歳出予算執行状況につきましてはナンバー14をご覧くださいと思います。

この経費につきましては、職員が心身ともに働きやすい環境づくりを図るもので、予算現額464万6000円に対しまして、執行額は408万318円で、執行率は87.82%となっております。主な支出の内容につきましては、職員の健康相談に係る産業医の報酬、職員健康診断の実施に伴う委託などとなっております。

最後に、決算審査関係資料として、事前に提出いたしました一般職員数、非常勤職員数の推移と人件費の推移についてご説明いたします。

お手元のタブレット端末をご覧くださいと思います。

まず、職員数の推移でございます。

令和6年4月1日現在における会計年度任用職員などを含めました総職員数は576名で、令和5年4月1日時点の606名から30名減少しております。この30名の減少の内訳を申し上げますと、一般職員数は382名で前年度の388名から1名減少しております。また再任用短時間職員は19名で前年度の23名から4名減少しております。さらに、パートタイム会計年度任用職員は170名で、前年度の195名から25名の減少となっております。

次に、人件費の推移についてご説明いたします。

この表につきましては、特別職を除く本市職員に係る人件費につきましては、令和元年度決算から令和6年度決算までの推移を整理したものでございます。

令和6年度における人件費の決算総額は、30億8111万円余りでございます。前年度と比較いたしますと総額で6118万円余り、率にして2%の増となっております。この主な要因につきましては、令和6年8月に公表されました人事院勧告を踏まえた給与改定による月例給の引上げや期末勤勉手当の支給月数の増加によるものでございます。また、職員数につきましては、4月1日現在の数値で整理していると

ころでございますが、人件費の額につきましては各年度の執行結果を決算額としてお示ししているものでございます。

○設楽健夫委員長

ありがとうございます。

それでは、質疑に入ります。

ございましたら、挙手をもってお願いします。

○櫻井繁行委員

参考資料で出していただいていた一般職員数と非常勤職員数の推移ということで、前後も対比できてありがたい資料なんですけれども、令和6年度を客観的に総括として見させていただく中で、令和5年度よりも30名減という話がありましたけれども、会計年度任用職員については令和5年度と比較して25名の減ですよね。担当部局ごとに内訳が載っていますけれども、割り振りを含めて令和6年度、人事課としてはどのような考えを持ちなのかお伺いしたいんですけれども。

○秘書人事課長（神野 厚君）

ただいまのご質問にお答えいたします。

会計年度任用職員につきましては、令和5年度と令和6年度を比較いたしますと、25名の減となっておりますが、定年延長制度ということもありまして、再任用短時間勤務職員が今後増えていくことが見込まれますので、会計年度任用職員を減らして、人事配置を精査したことと、部局間で常勤職員の再配置を進めた結果でございます。

○櫻井繁行委員

今課長から今後というお話もあったんですけれども、基本的に令和6年度の決算ですので、正直言うと、会計年度任用職員を25名も削減をしているということを客観的に見ると、すごくマンパワー不足に陥ったのではないのかなというのは、現場、中身まではちょっと把握しかねますけれども、そういった思いがあるんですね。そういった中で令和6年度25名も減らしてまで、例えば職務がしっかりと円滑に動いたというような認識はおありなんですかね。

○秘書人事課長（神野 厚君）

お答えいたします。

25名ほど会計年度任用職員が減ったということで、支障があったということは聞いておりません。

○櫻井繁行委員

やはりマンパワー不足という、繰り返しになってしまいますけれども、そういったところは私の実感としてあるところがあります。それで、令和7年度についてもさらに令和6年度よりも削減をしていくような状況にあると思いますから、これはどのような制度設計になっているかは分かりかねますけれども、やはり適材適所しっかりと職員を配置できるような、それは一般職、正職員も含めてになるかもしれませんが、そういったことを今後考えてしっかりと捉えて職務遂行していただきたいと思うんですけれども、いかがですか、課長。

○秘書人事課長（神野 厚君）

お答えいたします。

そのように考えて進めてまいりたいと考えております。

○小座野定信委員

今、櫻井繁行議員に対するお答えに対する関連の質問になるんですけれども、年次休暇の取得率、年間普通2年目から20日あるわけですね。それはどれぐらい取られているかというのがまず1点。

2点目としまして、今、療養休暇で休んでいる職員が何名ぐらいいるのかという点、この2点お答えください。

○秘書人事課長（神野 厚君）

お答えいたします。

先ほど年次休暇の取得に関しまして手元に資料がないので、後ほど提出させていただきたいと思えます。

○小座野定信委員

別に今は要りません。説明、後で。

○秘書人事課長（神野 厚君）

後で分かる資料でさせていただきます。

次、療養休暇を取っている職員につきましては、6名でございます。

○小座野定信委員

当然、24名も職員が減れば1人1人の業務というのは背中に重くのしかかってくるものかなと推察いたします。まして、今現在総務企画部長、簡単に言うと横田部長ですね。今までだと総務部長と市長公室長というような2人部長がいたわけですが、それを1人で補っているという姿を見ると非常に重いかと見受けることができます。そういったこともありますので、市としては、市長としても職員をなるべく少なく少数精鋭という考えがあるかもしれませんが、決して少数精鋭がいいことばかりではないと思います。その辺調整しながら、一般業務に支障のないように進めてもらいたいと思います。終わります。

○矢口龍人委員

関連なんですけれども、職員の労働時間の部分で非常に夜遅い時間まで市役所が開いているという話を聞きます。何か法定内じゃなくて時間外にもなっちゃっているんじゃないかなと思うような話を聞くので、そうすると今おっしゃっていた休暇を取るような職員が増えていると、これは関連しているんじゃないかなと思いますけれども、ご答弁いただけますか。

○秘書人事課長（神野 厚君）

お答えいたします。

産業医のほうから、長時間の勤務であったりとか心身の健康に及ぼす影響への注意や、精神的ストレスの早期発見が重要であるとの指摘を受けております。これを踏まえまして市のほうでも、超過勤務が多い職員を対象に面接指導を実施するとともに、健康管理の指導を行っているところでございます。

○矢口龍人委員

優秀な方ほど、仕事できる人ほどそういう残業が多いというようなことも聞きますので、本当に体調管理をしっかりしておかないと、今人員を減らしているような状況なんですけれども、実際のところ、こんなに減らしちゃって今言っていたような問題を解決できるんですか、お尋ねいたします。

○総務企画部長（横田 茂君）

先ほど来、会計年度任用職員も含めてですけれども、職員の確保ということが非常に大事だとは感じております。近隣との状況等もなかなか難しいものもございまして、職員の確保についてはこれからいろいろ考えを尽くしていかなければならないということでございます。その中で、できれば会計年度任用職員というようなことではなくて、長期的に正規の職員のほうを少しずつ確実にしていきたいという中で、いろいろ現実として運営していかなきゃならないということでございます。働き方も含めて、待遇も含めてですけれども、職員の確保をできるよう努めていきたいと考えています。

○矢口龍人委員

聞くところによりますと、かすみがうら市役所の職員がつくば市の職員に異動したとか、土浦市に異動したというお話も耳に入ってきたりしますけれども、結局もっともっと私は、職員の待遇をよくするべきだと思うんですよ、報酬でも何でもきちっとね。よその市に負けないような給与体系にするとか。これは職員確保、本当、正職員確保というのは非常に大事なことだと思うし、今いろいろ年間、年に何度も職員採用通知を出していますよね。それで、年齢制限もどんどん上げているような状態、これ分かりますよ、大変だというのが、採用するのは。それはやっぱり何が足りないかといったら報酬ですよ、報酬と仕事の内容が厳し過ぎる部分だと思いますよ。委員もこういう機会なので、皆さんそういう実際の内容をよく聞いていただいて、それでやっぱり改善するところは改善して、つくば市からかすみがうら市に入りたいという職員が現れるような、そんなやっぱり待遇を考えるべきだと私は思います。もしご答弁いただけるのであればお願いします。

○総務企画部長（横田 茂君）

人材確保につきましては、待遇という面、非常に重要だと思っております。ただ、委員のご指摘いただきました点については、非常に若い職員がそういう例があったということ、確かに事実でございます。それに比べて待遇も非常に重視しているということ、周りの市町村の状況になるべく追いつけるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○佐藤文雄委員

私は、決算カードを見ていろいろ考えるんですが、この人事、いわゆる区分がありますよね。人件費全体の歳出に対して。これ実際に増えているんですよ。令和4年度が、構成比、16.3%なんです。令和5年度が17.4%なんです。今回が18%なんです。どんどん上がっているんですよ。そうすると、逆に経常経費比率のほうで非常に問題になってくるとは思うんですが。

ちょっと、いわゆる類似団体というのがあるんですが、このかすみがうら市と同じ類似団体ですね。全国類似団体比較カードを見ますと、当該の団体はかすみがうら市、令和5年度で17.4%、類似団体は14.5%となっているんですね。

これは、土浦市とか県全体での比率とか、全国的な比率では、これは全国的な比率で類似団体なので、どうなっているのかなというのですけれども、それは分かりますか。分からないよね。

○秘書人事課長（神野 厚君）

ただいまのご質問ですが、今分からない状況でございます。

○佐藤文雄委員

監査委員のほうからはいろいろな意見が出ていませんか。監査委員のほうからこの問題について。

○秘書人事課長（神野 厚君）

監査委員のほうからは特段の意見はいただいております。

○佐藤文雄委員

いわゆる頭でっかちなんじゃないかという意見をお持ちの方がいらっしゃるんですよ。頭でっかちと言うよりも、頭が重いと。つまり、財政的に重い。そういうことがあるというふうにも言われているので、そこら辺の見直しというか、それはいかがでしょうか。

○秘書人事課長（神野 厚君）

管理職の比率だと思いますが、それが多いかどうかは、これから検討を進めてまいりたいと考えております。

○櫻井繁行委員

決算シートのところの、これは職員研修に要する経費になるんですかね。ちょっと決算書と相對してなくて申し訳なんですけれども、令和6年度とすると、令和5年度行ってこなかった職員意欲向上に係る制度の導入ということで、新たな試みかと思うんですけれども、目標1に対して実績1ですけれども、この要因と費用のほうを教えてください。

○秘書人事課長（神野 厚君）

お答えいたします。

令和6年度におきましては、職員がメンタルヘルスの理解を深め、心身の健康を保ち、適切な対処を身につけることなどを目的としまして、新たにメンタルヘルス研修を導入したことによるものでございます。

費用に関しましては、講師の謝礼金でございます。相談料の3万円でございます。

○設楽健夫委員長

よろしいですか。

○櫻井健一委員

62ページの茨城県職員対等総合交流派遣負担金なんですけれども、ちょっと自治研修所とおっしゃっていましたが、もうちょっと詳しく教えていただけないでしょうか。

○秘書人事課長（神野 厚君）

お答えいたします。

茨城県自治研修所に職員を派遣しているということでございます。

○設楽健夫委員長

よろしいですか。

○櫻井健一委員

どういふことをやっているのかということをもうちよつと分かるように。

○設楽健夫委員長

もう少し分かるように説明できますか。

○秘書人事課長（神野 厚君）

お手元のタブレット端末の画像を見ていただきますと、本市で実施している階層別研修の様子になりますが、こういった研修受講者のオリエンテーションや、日程の調整などを担当している職員でございます。

○櫻井健一委員

研修のお手伝いの要員として派遣されているということでいいんですよね。

○秘書人事課長（神野 厚君）

そのとおりでございます。

○設楽健夫委員長

委員長代わります。

先ほどの決算カードの人件費の決算額に対する構成比の問題で、他の市町村から比べてかすみがうら市が高いのではないのかというふうにあります、それに対する資料提出という話がございました。

〔「資料提出言っていないよ」と呼ぶ者あり〕

○設楽健夫委員長

資料提出じゃない。整理して分かるような資料を出しますと。

〔「言っていないよ」と呼ぶ者あり〕

○設楽健夫委員長

いや、その後出すと言っていなかったんだっけ。

[「うん」と呼ぶ者あり]

○設楽健夫委員長

はい、分かりました。

再度質問しますけれども、この構成比を調べるに際しては、管理職あるいは課長、課長補佐、そういうところの比率、組織全体の人員に対する課長と課長補佐、そして係長、そういう構成がどういうふうになっているのかということについて、県のほうの平均値よりも高いということですから、土浦市とか石岡市とか、県のほうの抽出してそういうことを検討していただきたいなというふうな質問です。

○井出有史副委員長

答弁を求めます。

○秘書人事課長（神野 厚君）

ただいまのご質問にお答えします。

今後、検討を進めていきたいと思っております。

○設楽健夫委員長

結構です。

○井出有史副委員長

委員長職を交代します。

○塚本直樹委員

先ほども矢口委員ですとか、櫻井繁行委員がご質問した点と関連なんですけど、先ほどメンタルヘルス研修を実施しているとお話をお伺いしましたが、逆に職員を対象にストレスチェックというようなものというのは今実施しているんでしょうか、お伺いいたします。

○秘書人事課長（神野 厚君）

お答えいたします。

ストレスチェックのほうも全職員を対象にしまして実施をしているところでございます。

○塚本直樹委員

そうしますと、一定の基準でストレスチェックを実施して、ある一定基準以上のストレスがかかった人に対しては産業医と面談するという形でよろしいでしょうか。

○秘書人事課長（神野 厚君）

そのとおりでございます。

○設楽健夫委員長

ほかにございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○秘書人事課長（神野 厚君）

先ほどの、小座野委員のほうからご質問があった件につきまして、ご回答させていただきます。 年次休暇の令和6年1月1日から12月31日までの本市における平均取得日数につきましては、12.8日です。

○設楽健夫委員長

ほかにございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○設楽健夫委員長

それでは、質疑を終結いたします。

続いて、説明を求めます。説明は簡単をお願いいたします。

○情報政策課長（田中英昭君）

情報広報課決算について歳入歳出決算書及び資料に基づきまして説明いたします。

まず、決算書の31から32ページをお願いいたします。

15款2項1目1節総務費補助金でございます。社会保障・税番号制度システム整備費補助金1157万6000円のうち当課に係る分としてマイナンバー中間サーバー更新の負担金に対する補助金が387万6000円ございます。こちらは10分の10の補助率でございます。

続きまして、デジタル基盤改革支援補助金321万9000円、こちらは、自治体情報システムの標準化・共通化に係る補助金でございます。補助率は10分の10です。

続きまして、61、62ページをお願いいたします。

雑入でございます。中ほど、広報かすみがうら広告掲載料92万円、こちらは、広報かすみがうらに掲載しております広告の掲載料でございます。

2つ下がります。ホームページバナー広告掲載料、こちらは、ホームページのバナー広告に対するものでございまして、21万6000円。

歳入については以上でございまして、続いて、歳出のうち主なものについて説明いたします。

決算書75、76ページ、歳出予算執行状況は1ページの10番、主要事業概要はお手元のタブレットの63ページになります。

2款1項1目、03広報事業、01広報に要する経費です。

当初予算889万9000円、補正予算マイナス50万円の減額とマイナス19万4000円の流用によりまして、予算現額820万5000円に対して、執行額が792万5835円で、執行率は96.6%となります。主な支出としましては、広報誌の印刷製本費426万4138円があります。

続きまして、決算書91から92ページ、歳出予算執行状況は3ページ34番、タブレットの主要事業概要は64ページになります。

2款1項7目情報管理費、01情報環境管理運営事業です。0101イントラネット整備に要する経費は、当初予算1億505万6000円にマイナス163万7000円の流用によりまして、予算現額1億341万9000円に対して、執行額が1億168万8398円で、執行率は98.33%です。こちらは、庁内で使用するパソコンやサーバー、プリンター等の調達と維持管理を行っております。

続いて、0102電算ネットワークシステム整備に要する経費。

当初予算1990万5000円に対して163万7000円の充用を受け、予算現額2154万2000円に対して、執行額が2121万4937円、執行率は98.48%です。庁舎間や出先機関等を結ぶネットワークの維持管理に係る費用でございます。このうちネットワーク構築業務委託757万6580円によりまして、中央庁舎のネットワーク整備及び千代田コミュニティセンターのネットワーク整備を行いました。

続いて、0103基幹系電算システム管理に要する経費。

当初予算9677万9000円に27万5000円を増額補正しまして、予算現額9705万4000円に対して、執行額が9581万1864円で、執行率は98.72%です。こちらについては、住民基本台帳、税情報、マイナンバーなど基幹系システムに係る費用でございます。

続きまして、決算書93から94ページ、歳出予算執行状況は3ページ37番、タブレットの主要事業概要につきましては65ページになります。

0201電子自治体推進に要する経費です。

当初予算2236万7000円に対しまして、執行額が2063万1880円で、執行率は92.24%です。国・県規模で構築しますネットワーク等の負担金を支出しております。また、自治体D Xに係るシステム構築を実施いたしました。主な支出として、各窓口を訪れた日本語に不慣れな外国籍の方、それから耳の不自由な方などとのコミュニケーションを補助するためにA I 技術を活用しました翻訳システムを構築し、この翻訳システム導入業務委託費として221万8150円、財源は国庫補助が2分の1です。また、市民窓口センターとほかの窓口をテレビカメラで結びます遠隔相談窓口システム導入業務委託475万5520円があります。こちら財源は国庫補助2分の1でございます。

説明は以上です。よろしくお願いいたします。

○設楽健夫委員長

それでは、質疑等がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

○櫻井繁行委員

電子自治体推進に要する経費のところの概要シートを見ると、D X推進状況、これは、本年度僕も一般質問をさせていただきましたが、令和6年度のお話ですけれども、令和5年度は目標に対して100%の実績でしたけれども、令和6年度は93%と7%ほど減になっていますが、要因を教えてください。

○情報政策課長（田中英昭君）

お答えいたします。

自治体D Xの推進状況が令和5年実績100%に対して、令和6年実績が93%に減っておりますのは、総務省の自治体D X推進計画、こちらにおきまして、自治体に取り組むべき重点取組事項、これが令和5年度には6項目ありましたが、令和6年度に7項目に増えまして、その関係で実績としては減っております。

○櫻井繁行委員

少し一般質問でも確認させていただいたような気がするんですけども、6項目が7項目に増えて、令和6年度、その1項目がクリアできなかったということですよ。会議録もあるので、明確にしっかりご答弁いただければと思うんですが、こういった内容があつてそれがクリアできなかったのか伺います。

○情報政策課長（田中英昭君）

増えた項目としましては、公金収納におけるe L-Q Rの活用というものでございまして、公金の納付書にQ Rコードを全て刷り込みなさいという目標がございしますが、市としましては今後取り組むべき事項であると認識しておりますので、その分は途中ということで、達成はしていない状況でございます。

○櫻井繁行委員

なぜ刷り込めなかったのか。

○情報政策課長（田中英昭君）

今後後期高齢などは刷り込むようなことになっておりますが、水道や下水道などの納付書に対する刷り込みは現在検討していないと水道事務所からは伺っております。

○櫻井繁行委員

自治体D Xというのは、情報広報課がしっかりと取り組んでいくことでしょうか、担当課によってできる、できないを鵜呑みにするものなのか、どういうふうに管理をしていって、国が進める重点施策事項なんかもどんどん増えていたり、変化していくわけですよ。そういった中で、じゃあ100%目指していくのか、はたまた、もうこの辺でいいよと、水道事業に関しては料金無理だから、不可能だからというのを考えなのか、令和6年度の決算として伺いたいんですが、いかがですか。

○情報政策課長（田中英昭君）

D X推進担当課としましては、ぜひ刷り込むように強く求めていきたいと思っております、100%になるように努めてまいりたいと考えております。

○設楽健夫委員長

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○設楽健夫委員長

それでは、質疑を終結いたします。

続きまして、このままで入替えはいいですか。

それでは、農業委員会事務局の所管に関わる部分を議題といたします。

説明を求めます。なお、説明は簡潔にお願いいたします。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

農業委員会事務局です。よろしくお願いいたします。

令和6年度歳入歳出決算についてご説明をさせていただきます。

一般会計の歳入になります。

決算書35、36ページの中段をお願いいたします。

15款国庫支出金、2項国庫補助金、4目農林水産費国庫補助金、1節農業費補助金、機構集積支援事業補助金、収入済額283万8000円で、前年度と比較すると同程度の額となります。主な内容は、担い手への農地の集積・集約化を促進するに当たり、農地法に基づき農業委員会が行う事務のうち、農地の利用状況調査や所有者への利用意向調査等に要する補助金です。

49、50ページの上段をお願いいたします。

16款県支出金、4項県交付金、2目農林水産業費県交付金、1節農業費交付金、備考欄上段の農業委員会交付金、収入済額424万1000円で、前年度と比較すると同程度の額となります。主な内容は、農地法に基づく農地の権利移動や転用の許可等の農業委員会の業務及び組織に要する交付金です。

同じ備考欄の4番目、農地利用最適化交付金、収入済額223万9250円で、前年度と比較すると同程度の額となります。主な内容は、農業委員、農地利用最適化推進委員が行う農地のあっせんによる担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止、解消等の実績に応じた交付金です。

歳入についての説明は以上となります。

続きまして、歳出についてご説明いたします。

決算書173、174ページの中段、歳出予算執行状況は10ページの下段をお開きください。タブレットの主要事業概要は129ページになります。

6款農林水産業費、1項農業費、1目農業委員会費、02農業委員会運営事業、0201農業委員会運営に要する経費、歳出予算執行状況は10ページのナンバー155になります。

当初予算1624万1000円、流用により予算現額1643万3000円、執行額が1626万4011円で、執行率は98.97%です。主な内容は、農業委員会に関する法律に基づく農業委員会の組織及び運営に要する事業と農地法に基づく農地の売買、賃借の許可、農地転用案件への意見具申など農地に関する事業です。主なものとして、農業委員15名の報酬、農地利用最適化推進委員11名の報酬と関係機関への負担金です。前年度執行額は1609万9755円で、16万4256円増加しております。主な理由といたしまして、農業委員等への作業服購入による消耗品費の増加です。

176ページの上段、歳出予算執行状況は10ページの下段、タブレットの主要事業概要は129ページにな

ります。0202農用地利用集積特別対策に要する経費、歳出予算執行状況は10ページのナンバー156になります。

当初予算625万7000円、補正流用により予算現額660万7000円、執行額が606万3094円で、執行率は91.77%です。主な内容は、農地法に基づく農地の利用状況調査及び利用意向調査に関する事業です。主なものとして、会計年度任用職員2名分の報酬と通信、運搬費です。前年度執行額は406万5125円で、199万7969円増加しております。主な理由といたしまして、会計年度任用職員報酬等の増加と農業委員が活動のために使用するタブレット購入による消耗品費の増加です。

歳出についての説明は以上となります。

続きまして、タブレットの農業委員会事務局提出資料、令和6年度一般会計決算審査関係資料をご覧ください。

農地転用件数及び面積一覧についてご説明をいたします。

左の表から、市街化調整区域、都市計画区域外における農地法第4条許可、農地所有者自ら農地を農地以外のものにする場合は4件の1,456平方メートル、うち太陽光2件、1,175平方メートルです。

次に、農地法第5条許可、農地所有者と転用事業を行う者の間で所有権移転とか賃借権等権利の設定を行い、農地を農地以外のものにする場合です。112件、10万5187平方メートル、うち太陽光が99件、8万4819平方メートルです。主な許可内容は、太陽光発電施設、資材置場、駐車場、自己住宅等への転用です。

続いて、市街化区域、市街化農地は宅地化等の別の用途に利用されることが見込まれるため、届出を出ただけで転用できます。農地法第4条届出が9件、5,516平方メートル、農地法第5条届出が35件、4万7003平方メートルです。主な届出内容は、自己住宅、共同住宅等駐車場への転用です。令和6年度合計と前年度合計を比較すると60件、5万7117平方メートルの増です。主な理由といたしまして、太陽光発電施設で71件、5万670平方メートルの増加です。

説明は以上となります。よろしくお願いします。

○設楽健夫委員長

質疑を求めます。

○小座野定信委員

農地法第4条、第5条、許可に関することではちょっとお伺いしますが、これ太陽光ということで、太陽光、非常に今ブームで、農地転用ということが非常に求められている時代かと思うんですけども、土浦市、石岡市等は太陽光発電に関する農地転用の面積、もろもろに対する規制をかけていると思うんですけども、どうですか、局長分かりますか。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

近隣の土浦市と石岡市、転用面積までは、今資料を持っていないので確認はしておりませんが、規制を、太陽光を設置しないということで、規制をかけることは今の農地法上ではちょっと困難な状況です。

太陽光の設置の申請書類が整っていれば、受付をせざるを得ないし、総会での許可の判断を行うわけですけども、併せて環境保全課のほうで所管している太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例等の申請が、環境保全課のほうの申請が必要となります。

あとは生産性の高い優良農地である第1種農地と言われる農地ですけども、10ヘクタール以上の農地への転用は、原則不許可ですけども、営農型の太陽光に関しては例外で、一時転用の許可となることになります。

○小座野定信委員

農業委員会が太陽光に対する規制というのは、今のところ難しい、今の法律上難しいということの答弁でしょうか。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

そのようになります。

○小座野定信委員

じゃ、その所管の担当課はどこの課になりますか。例えば、規制をすると、市のほうで規制をしなくちゃならないという、土浦市、石岡市、他の市町村に合わせてその太陽光発電に対する規制というものをかけるとすれば、担当課はどの課になりますか。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

規制となりますと、生活環境課のほうで設置に関する条例を令和2年度に制定したんですけれども、最近では、鉾田市が、去年設置の条例をつくりまして、ちょっと厳しく設置しているような、条例内容を厳しくしているような状況になると思います。

今現在ある環境防災課で持っている設置に関する条例のほうをもう一度見直しして、条例改正、もしくは施行規則の一部改正をしてもらうのがどうかとは思われます。

○小座野定信委員

続けて質問します。

あと農業委員、今度新たなシステムで選挙がなくなり、市長の推薦という形になったと思うんですけれども、農業委員のほかに、今度、農業推進委員とか何とかという名目で出ましたよね。その報酬について伺いますけれども、各農業委員と農業推進委員でしたか、報酬は今現在どれぐらいですか。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

お答えいたします。

会長のほうで4万6000円、代理のほうで4万5500円、あと農業委員が4万5000円、推進委員が3万5000円と月額となっております。

○小座野定信委員

その中から農業新聞の購読料を農業委員が半強制的というか、そういうことで引かれているというふうに伺っておりますけれども、その辺どうですか。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

月額の報酬のほうから毎月農業新聞、月額700円を徴収いたしております。

○小座野定信委員

やはりこれ市長の推薦でなった方々ですから、本来であれば情報誌ですよ。そういったものは、やはり役所、公金で私は出すべきだと強く考えています。

あとその農業委員と農業推進委員、各農業委員会に所管する委員方の報酬、これかすみがうら市だけが何か低いように思うんです。以前、たしか元の農業委員は1か月5万円だったと思います。この5万円という数字も、昭和の最後、昭和63年から平成2年か3年頃までに3万5000円から5万円になりました。私の記憶では。

だから、それから農業委員の組織が変わり、農業委員の活動状況も変わり、年齢も若くなり、また会員数も増え、非常に活動が活発になってきています。そういう中で1か月3万5000円、4万5000円で来週来いと、再来週来てくれと、そういう通知を出すのがすごく負担になるんじゃないかなと思います。

我々議会も県内ワースト3ぐらいに入る報酬でやっていますけれども、これほかの市町村と比べて、各農業委員の報酬というのは、どれぐらいの場所にありますか。分かりますか。ご答弁願います。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

今手元に報酬の県内の順位というのは、手元に資料がちょっとないので、はっきりしたことは申し上げられませんが、近隣とちょっと比較すると、そう大して大きな差はないのかなとは思われます。

ただ、これを増やすとか、減らすとかという場合には、財政担当とも協議が必要になってきますので、この場でははっきりすることは申し上げることはできません。

○小座野定信委員

農業委員そのものの活動状況も、推進委員の活動そのものの状況も、私も間接的に聞いていますけれども、ちょっと安過ぎる、逆に酷です。ちょっとかわいそう過ぎます。

だから、当時旧千代田町のときに3万5000円から5万円になったときも、随分上がったなという声は出ましたが、やはり当時、茨城県でも5万円というのは水戸市ぐらいしかなかったんです。ところが、旧千代田町で率先して5万円にしたといたら、旧千代田町で5万円にしたら、いきなり近隣の町村も5万円になりました。

やはり、本当に農業を衰退させない、農業を基盤とする、市の財政もそうだと思うんですけども、本当に農業委員が動きやすい、呼び出し、会議の通知を出しても気持ちよく出せる、そういう、せいぜい、正直、私の感覚から言うと、7万円から8万円ぐらいは農業委員に払うべきじゃないかなと思いますけれども、局長、どうですか、お考えは。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

なかなか今この段階で、はいとは申し上げにくいんですが、近隣の状況を確認しながら対応したいとは思っております。

○小座野定信委員

これ議会の報酬も、行く先々は、当然あと5年後、10年後、20年後かも分かりませんが、当然値上がりしてくると思います。国会議員の報酬を見ても毎年上がると、わけの分からないお金まで支出されていると、そういう国会議員だけでなく、やはり我々、末端、行政の議員、まして農業委員も含めた中で、当然生活というものがありますし、自分の仕事というのも当然農業委員の場合はあるわけですから、そういったことを勘案しながら、いい結果が出ることを期待して私の質問を終わります。

○設楽健夫委員長

ほかにございませんか。

○櫻井繁行委員

令和5年度に比べて、農地の利用集積が10ヘクタールほど減っているんですけども、要因を教えてください。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

1つ考えられることは、農業委員等の改選が令和6年3月にありました。1年目の農業委員とか推進委員がより多くなりまして、農地の集積相談は農家の方から相談はしているかと思いますが、いまだその集積に至っていない件があるのではないかと思います。

令和7年とか8年の集積実績に期待したいと思います。

○櫻井繁行委員

そうすると、令和5年度に比べて10ヘクタールほど削減したのは、農業委員も改選があったと、それでなかなかその利用促進の業務が、新しい方々が加わったことによって進まなかったというような認識なんですかね。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

相談は受けていると思います。ただ、それが結果につながっていないのかなということではないかと思われる。

○櫻井繁行委員

これ令和6年度目標としては、40ヘクタールから45ヘクタールと5ヘクタール増やしていく中で、この予算も200万円ちょっと、令和5年度よりも増えていますよね。これは会計年度任用職員が増えたという解釈なのかもしれませんが、そういった中で、非常にこの農業委員会として大事な利用集積について、もう少し明確に分析をして決算審査に臨まれているのかなと思ったんですけども、そういったところというのはいかがなんでしょうか。

その場しのぎになっちゃうと、数字で表れるところじゃないですか。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

そうですね。

非常に難しいところなんですけれども、言いにくいところがございます。

○櫻井繁行委員

農業委員、もしくは推進委員、しっかり取り組んでいただいていると私も思っています。

そういった中で、じゃ、農業委員、担当課としてどういうふうに管理していくのかということも、やはり、正直言うと、こういうところでしか数字で表れないじゃないですか。日々の活動というのは、どうしても僕たち、全てが全て把握をしてないので、年一度の決算審査のところで、やはり費用対効果も含めて評価をしていかなければいけませんから、そういったところも、やはり10ヘクタール削減になった要因としては、やはりあまり抽象的じゃなくて、しっかりととらまえておく必要が必ずあると思いますので、そういったところをしっかりと今後取り組んでいただきたいと思いますけれども、いかがですか。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

分かりました。

よく農業委員とか、推進委員によく指導したいと思います。

○矢口龍人委員

今外国人が農業に、市内の農業に参入しているような話を聞きますけれども、これは、もちろん先ほどの話じゃないけれども、許認可とか、そういう関係で、規制をしたり何なりということが出来るのかどうなのかお願いします。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

今の農地法上、外国人だからということで排除することは困難な状況です。

許可の申請書が整っていれば受けざるを得ないので、それで許可を出しているような場合もあります。

○矢口龍人委員

法的に認められたということだと思いますので、それはそれでしょうがないということだと思うんですけども、ただ、やっぱり外国人の方たちの場合、やっぱり秩序というか、地域のいろいろな事情があると思います。例えば、野焼きというのか、ああいうことは、もうやっちゃ駄目だとかというのは、もちろん燃やせば消防署でも何でも規制かかるでしょうけれども、やはりそういう方たちが地元に入るときには、もちろん農業計画等は農業委員会のほうに提出すると思うので、要するにモラルというか、そういうものをマニュアル化して、そういう人たちに教育をするぐらいはできるんじゃないかと思うんだよね。じゃないと、何か無法地帯になっちゃうと困るので、非常に地元の方も心配しているので、そ

の辺のところ、ちょっと予想の研究もしながら、そういう指導をできればいいなと私は思うんですけれども、いかがでしょうか。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

外国人と限らず、一般の農家の人が土地を買ったり借りたりする場合には、農地を農地として耕作するということで買ったりするんですけれども、適正に管理をしていない農地がある場合には、次、買う場合には、前に買った土地が汚いでしょう、きれいに洗っていないでしょう、だからどうなんですかということでの質問はかけることは可能かと思われます。

○矢口龍人委員

許可を出すほうなので、やっぱりそれはそういうふうな許可を出す代わりに、やはりかすみがうら市はこういうふうなことを考えているんだということを、ちゃんとやっぱり示すべきじゃないか。例えば、穴を掘って、ガラをぶっ込んじゃって、今の話じゃないけれども、次、もし農地として売買するにしても、ごみが入っていては、農地として復活できないですから。その辺のところも、ただ許可をぼんぼんと出すんじゃなくて、やはりその辺のところも、もう少し気を遣った許認可の交付をお願いしたいというふうに思うんですけれども。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

農業委員の総会の折に、そのような方があった場合には、確認をしながら進めていきたいと思います。

○設楽健夫委員長

ほかにございせんか。

○久松公生委員

1つだけ今の、矢口委員にちょっと関連するんですが、そういったところには、定期的に農業委員とか、見回りとか、そういうのを行ってということをしているというか、そういうことをして、内容を分かっているんでしょうか。1つだけお伺いします。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

7月から9月にかけて農業委員とか推進委員と職員で農地パトロール、農地利用状況調査というのをやっています、その際に、そういうようなものがあった場合には、指導したり、あとは日頃の農地の活動、農業委員とか推進委員が活動しているときに、そういうものを発見した場合には、指導してもらうようにお話はしております。

○久松公生委員

じゃ、それは7月から9月始まりでしたがけれども、それは年間通してどのような回数というか、毎月やるとか、そういったところまでは決まっているパトロールなんでしょうか。

○農業委員会事務局長（小泉一司君）

7月から9月にかけては、集中的に農地のパトロールを行って、農地の利用状況というのを確認しておりますが、それ以外のところは、農業委員とか推進委員が自主的に地元のところを歩いているような状況かと思います。

○設楽健夫委員長

そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○設楽健夫委員長

それでは、質疑を終結いたします。

ここで暫時休憩いたします。　〔午後　4時51分〕

○設楽健夫委員長

再開します。

[午後 4時51分]

次に、議案第73号のうち産業経済部の所管に関わる部分を議題といたします。

説明を求めます。

○産業経済部長（貝塚裕行君）

それでは、令和6年度一般会計歳入歳出決算のうち産業経済部所管の部分につきまして、それぞれ農林水産課長、商業工観光課長より説明をさせていただきます。

○設楽健夫委員長

それでは、説明を求めます。なお、説明は簡潔にお願いいたします。

○農林水産課長（篠崎政彦君）

それでは、産業経済部農林水産課所管の令和6年度一般会計の決算についてご説明をさせていただきます。

まず、初めに、主な歳入についてご説明をさせていただきます。

決算書43ページ、44ページをお開きください。

中段になります。

16款2項4目1節農業費補助金8622万4120円でございます。主な内容といたしましては、右の備考欄1段目、県単土地改良事業補助金で農道整備工事及び排水路整備工事の実施に伴います県補助金、補助率は農道整備で37.5%、排水路整備で50%になります。

次に、3段目、土地改良区決済金等支援補助金で、水田を畑地化することに伴い、土地改良区エリアからの地区除外に要する決済金を支援する国補助金、定額上限10アール当たり25万円になります。

次に、6段目、農業次世代人材投資資金経営開始型補助金及び9段目、経営開始資金補助金で、新規就農者支援に係る国補助金、補助率は100%になります。

次に、9段目、水利施設管理強化事業補助金で霞ヶ浦土地改良区への管理費、主に揚水にかかる電気料、施設改修費などに充てる国及び県補助金、補助率は国50%、県20%、及び省エネルギー化推進対策として、農業水利施設においてエネルギー価格高騰により影響の受けやすい電力料について支援をする国補助金、補助率は100%になります。

次に、決算書47、48ページをお開きください。

下段になります。

16款4項2目、次のページ、49、50ページをお開きください。

1節農業費交付金7777万9840円のうち農林水産課所管は、右の備考欄2段目及び3段目になります。主な内容といたしましては、2段目、多面的機能支払事業費で、農業者などで組織された団体が農地や水路、農道などの地域資源の保全活動や保全管理のための推進活動及び農業施設の軽微な補修や長寿命化のための更新活動を支援する国及び県交付金、補助率は国50%、県25%になります。

続きまして、歳出における主な事業についてご説明をさせていただきます。

決算書177、178ページ、歳出予算執行状況は11ページをお開きください。タブレット端末、主要事業概要は94ページになります。

6款1項3目、右の備考欄、01農業振興事業、0101農業振興に要する経費、歳出予算執行状況2段目、ナンバー160になります。

当初予算3607万1000円、補正・流用により予算現額1856万9000円に対し、執行額が1573万5345円で執行率は84.74%です。主な内容といたしましては、18節負担金、補助及び交付金で、各種農業団体への補

助をはじめ、新規就農者に対する就農開始段階での不安定な経営の下支えと定着を促す農業次世代人材投資資金経営開始型補助金及び次のページ、179、180ページをお開きください。経営開始支援資金補助金になります。この2つの補助金につきましては、国の予算科目における補助金の名称変更によるものでございまして、認定新規就農者の事業採択年度に応じて整理されているものでございます。

令和3年度までの採択者につきましては、農業次世代人材投資資金経営開始型補助金におきまして9名に交付し、令和4年度以降の採択者につきましては、経営開始資金補助金において3名に交付し、合計で12名に補助金を交付しているところでございます。

次に、決算書は中段になります。

0104有機農業推進に要する経費、歳出予算執行状況ナンバー163になります。

当初予算373万7000円、補正・流用により予算現額465万5000円に対して、執行額が462万4520円で、執行率は99.35%です。主な内容としたしましては、18節負担金、補助及び交付金で、有機農業の推進により、地球温暖化のリスクなど環境負荷低減や学校給食への提供による食育や環境教育、また、安定した生産供給体制の構築による持続可能な農業を図るための取組を行うもので、市オーガニック推進協議会へ補助金を交付してございます。

令和6年度から有機農業の取組を開始いたしまして、生産されました有機米などにつきまして、昨年12月からおおむね1か月程度ではありますが、学校給食へ提供を行ったところでもございます。

次に、その下、タブレット端末、主要事業概要は95ページになります。

02有害鳥獣対策事業、0201有害鳥獣対策に要する経費、歳出予算執行状況ナンバー164になります。

当初予算1439万3000円、補正により予算現額1230万2000円に対して、執行額が1180万913円で、執行率は95.93%です。

鳥獣による農作物への被害防止を図ることを目的に、主な内容としたしましては、7節報償費で、狩猟期間中に捕獲したイノシシ1頭当たり成獣で1万2000円、幼獣で5,000円、及び捕獲確認経費として2,000円を交付する鳥獣駆除謝礼を有害鳥獣捕獲事業により捕獲したイノシシ1頭当たり成獣で1万4000円、幼獣で5,000円を交付する有害鳥獣捕獲処理謝礼になります。

また、12節委託料で、有害鳥獣捕獲事業委託につきましては、千代田地区及び霞ヶ浦地区のそれぞれの猟友会に事業を委託し、千代田地区につきましては、イノシシが年4回、カラスが3回、霞ヶ浦地区につきましては、イノシシが年に3回、カラスが2回、カルガモが1回を実施してございます。

次のページ、181、182ページをお開きください。

18節負担金、補助及び交付金で、農家自らの自衛対策への支援として、農地への鳥獣の侵入を防止するための電気柵などの材料費の一部の助成を行う鳥獣被害防止施設整備支援事業補助金、交付実績21件になります。

なお、令和6年度のイノシシの捕獲実績につきましては、狩猟期間、有害捕獲合わせまして296頭になります。

次に、その下、タブレット端末、主要事業概要は96ページになります。

6款1項4目、右の備考欄01農地利用促進事業、0101米政策推進に要する経費、歳出予算執行状況はナンバー165になります。

当初予算1202万8000円、補正により予算現額5470万3000円に対し、執行額が5290万2680円で、執行率は96.71%です。主な内容としたしましては、18節負担金、補助及び交付金で、地域農業の振興など水田の利活用を推進する水田利活用推進事業助成金で、推奨米作付支援及び補正予算により国の畑地化促進事業における水田を畑地化することに伴い、土地改良区エリアからの地区除外に要する決済金を補助す

るもので、水田面積10アール当たり定額上限25万円になります。霞ヶ浦土地改良区のエリアにおきまして、2戸の酪農家が取り組み、面積約15.9ヘクタールになります。

次に、タブレット端末、主要事業概要は97ページになります。決算書は中段になります。

6款1項5目、右の備考欄01土地改良事業、0101土地改良整備支援に要する経費、歳出予算執行状況ナンバー167になります。

当初予算496万1000円、補正により予算現額862万7000円に対し、執行額が855万2878円で、執行率は99.14%です。主な内容といたしましては、18節負担金、補助及び交付金で、水利組合の保有施設の整備や改修に対して助成を行い、土地改良事業を推進する小規模土地改良事業補助金で、水利組合3団体に對して補助金を交付してございます。

また、各土地改良区の保有施設の改修等に県単土地改良事業を活用した際、市が上乗せ支援をする県単土地改良上乗せ補助金で、かんがい用水に係る事業の場合は事業費の10%を、排水に係る事業の場合は12.5%を補助するものでございます。4改良区で用水に係る事業6事業、排水に係る事業1事業、合計で7事業を実施してございます。

次に、その下、0102土地改良助成に要する経費、歳出予算執行状況ナンバー168になります。

当初予算3503万円、繰越・補正により予算現額4005万2000円に対して、執行額が3868万4000円で、執行率は96.58%です。主な内容といたしましては、決算書次のページ、183、184ページをお開きください。18節負担金、補助及び交付金で、国営造成施設を有する霞ヶ浦土地改良区に対し、水利施設の管理体制の強化を図るため、霞ヶ浦土地改良区補助金を交付し、主に揚水に係る電気料や機場運転経費、また、令和5年度から繰越事業と実施しておりました出島揚水牛渡機場の施設修繕工事につきましては、令和6年9月末に工事が完了してございます。

次に、その下の省エネルギー化推進対策補助金につきましては、補正予算により、農業水利施設においてエネルギー価格高騰により影響を受けやすい電気料金について支援をするもので、令和6年4月から9月までの期間を対象に、高騰した分の7割に相当する金額について水利組合等7団体に補助金を交付してございます。

次に、その下、0104農地維持・資源向上対策に要する経費、歳出予算執行状況ナンバー169になります。

当初予算1億2391万4000円、補正により予算現額9636万5000円に対して、執行額が9636万3181円で、執行率は100%です。主な内容といたしましては、18節負担金、補助及び交付金で、農業者などで組織された団体で、農地法面の草刈りや水路の泥上げなどの基礎的保全活動や地域資源の水路や農道などの軽微な補修などによる質的向上、また、施設の長寿命化のための更新活動を支援する農地維持・資源向上対策交付金で、23団体に交付金を交付してございます。

また、22節償還金、利子及び割引料で、国庫補助金等返還金として資源保全活動組織において5年間の活動期間の最終年度である令和5年度末におきまして、2つの活動組織で交付金の残額があったことから、国及び県に返還をしたものでございます。

次に、その下、0105県単土地改良に要する経費、歳出予算執行状況ナンバー170になります。

当初予算1130万円、繰越しにより予算現額3162万4900円に対し、執行額が1985万1000円で、執行率は62.77%でございます。主な内容といたしましては、14節工事請負費で、農道整備工事につきましては、安食、岩坪地区における農道整備で、一部拡幅工事の箇所の土地が相続されておらず、所在不明の相続人調査及び用地協力に係る承諾取得に時間を要し、発注時期に遅れが生じたため、年度内完了が見込めなくなったことから、令和7年度へ繰越事業となつてございます。なお、繰越事業に係る農道整備につきましては、令和7年4月末に工事が完了している状況でございます。

次に、その下の排水路整備工事につきましては、牛渡地区における排水路整備工事で、令和5年度から令和6年度への繰越しされた事業であり、こちらにつきましては、令和6年7月末に工事が完了してございます。

次に、その下、タブレット端末、主要事業概要は98ページになります。

6款2項1目、右の備考欄、01林業振興事業、0101林業振興に要する経費、歳出予算執行状況ナンバー171になります。

当初予算1516万1000円、補正・予備費充当により予算現額1538万8000円に対し、執行額が1085万3257円で、執行率は70.53%です。主な内容につきましては、12節委託料で、林道敷の保全管理として、年2回、上期と下期に分け、シルバー人材に依頼し、実施をしてございます林道4路線の草刈り、除草委託や倒木等の危険防止や通行における環境整備として林道の支障木の伐採事業を行う森林整備事業等委託になります。

また、22節償還金、利子及割引料で、県補助金等返還金として、平成28年度に身近なみどり整備推進事業で森林整備を実施した山林所有者から転用の申出があったことから、一部県への返還金が生じたため、予備費により対応したものでございます。なお、県への返還額と同額につきまして、山林所有者から市へ返還金の納付は済みでございます。

次に、その下、タブレット端末主要事業概要は99ページになります。

6款3項1目、右の備考欄、01水産振興事業、0101水産振興に要する経費、歳出予算執行状況ナンバー172になります。

当初予算、予算現額329万3000円に対し、執行額が217万3153円で、執行率は65.99%です。主な内容としましては、12節委託料で、市内15か所の船溜及び2か所の漁港について、施設使用母体である霞ヶ浦漁業協同組合に委託し維持管理を行っている船溜管理委託及び、次のページ、185、186ページを開きください。18節負担金、補助及び交付金で水産加工品の販路開拓や地場製品のPRなど普及啓発活動を行う水産加工特産品キャンペーン補助金及び水産資源の回復を図るため、ウナギの放流事業を実施する水産多面的機能発揮対策事業交付金になります。

説明は以上になります。よろしくお願いします。

○設楽健夫委員長

ありがとうございます。

お諮りします。

会議ですが、質問のほうについては明日以降に移していきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○設楽健夫委員長

それでは、本日の会議についてはこれで終了ということで、明日は残りを引き続き審査を行います。

それでは、これで本日の委員会を散会といたします。ご苦労さまでした。

執行部の方については、明日よろしくお願いします。

明日、予定どおり午後1時30分開始とさせていただきます。よろしくお願いします。ご苦労さまでした。

散 会 午後 5時18分

かすみがうら市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

決算審査特別委員会

委員長 設 楽 健 夫